ULTITEC 3000T

スタイル番号 DD310T, DD320T, DD330T, DD340T　　カテゴリー IIIの化学防護服

本衣服はEU規則2016/425及びその他の参照規格の要件に準拠しています。

表示:
各カバーオールは内側と外側のラベルで識別されます。内側のラベルは規則で定義されているように保護等級を示します。またその他の使用に関する関連情報をエンドユーザーに提供します。外側のラベルは衣類の種類を示します。

1 織物の種類又はブランド
2 スタイル番号又はモデル同定
3 本製品は、PPE指令 (EU) 2016/425のカテゴリーIII の要件に適合しています。EU型式審査証明書 (モジュールB) はSGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)が発行しています。生産の品質保証 (モジュールD)への適合性は現在、SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)が調査監視中ですotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland)によって発行されEC認定機関第0598によって確認されています。
4 タイプ 4　スプラッシュタイトな衣服　EN 14605:2005 + A1:2009
タイプ 5　粒子タイトな衣服　EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
タイプ 6　限定スプラッシュタイトな衣服　EN 13034:2005 + A1:2009
5 本ピクトグラムは本スーツが化学薬品に対する保護用であることを示します
6a ULTITEC 3000Tカバーオールは帯電防止処理が施され、またEN1149-5:2018が内面のみに求める静電気保護に準拠しており、有効であるためには互換性がある付属品と作業慣行のもと使用されなければなりません（下の注意を参照のこと）
6b 本ピクトグラムと三角形は第4.2項、穿刺に対する抵抗及び耐ブロッキング性を除くEN 1073-2：2002への放射能防護を示します。
6c タイプ番号の後ろの '-B'は本カバーオールで使用された織物が感染剤に対するEN14126:2003の保護について検査済であり合格していることを示します。
7 サイズ情報: 適切なサイズを選択して下さい。

サイズ	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
胸囲 (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
身高 (cms)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 着用者はこれらの指示を読むべきです。
9 ケアピクトグラム: 洗濯しないでください。機械乾燥しないでください。アイロンをかけないでください。ドライクリーニングしないでください。
10 再利用しないで下さい。
11 製造日
12 追加の警告:　可燃物です。火から遠ざけること

コンプライアンスと責任:
第5/6種とEN 1073-2 衣服の性能要求を完全に満たすには、手首、足首、首、およびジッパーフラップを含む全ての開いている部分がしっかりテープで閉じられているべきです。要求される種類の保護への適切性及びカバーオールの付属品と補助機器の正しい組み合わせは利用者のみの判断に委ねられています。完全な保護を得るには全ての開口部はしっかりと閉じておく必要がありますが、利用者が判断し使用中熱の影響を考慮に入れるものとします。熱のストレスや不快感は適切な下着又は換気装置の使用によって低減及び除去されることが可能です。製造元は不適当な行動、または不適切な防護服や付属機器の選択によって引き起こされた事故について責任を負いません。

制限事項:
一部の化学物質への暴露や高濃度又は高圧の場合、織物またはスーツの製造においてより高いバリア性を要する場合があります。そのような条件下においてはタイプ1から3の基準に従い製造された、あるいはより保護的な材料で製造された衣服によって保護されることが出来ます。意図された使用に適切な履物が、特にブーツや靴下が取り付けられた所に履かれる必要があります。一体型ブーツは適切な履物の内側に履かれ、履物の上部の開口部はカバーオールの脚部にテープで固定されるものとします。

衣服の取り外し:
汚染の可能性があるあらゆる衣類を取り外す際注意を要する。確実に汚染物質がアシスタントまたは着衣者のどちらとも接触することがないよう、手袋をはめたアシスタントを用いて着衣者から衣服を剥がすべきである。

使用目的:
これらのカバーオールは有害物質や製品と人員の両方の汚染に対し保護するよう設計されています。通常、毒性の程度や諸条件によりますが、浮遊粒子や限定的な飛沫、噴射に対する保護を目的に使用されます。放射性物質や難燃剤などの空中浮遊粒子には浸透に対する耐性の必要性において、本化学防護服衣服に適用される性能要件は上に列記された基準が網羅します。加えてライトスプレー液体エアロゾルへの潜在的な曝露又は完全な浸透バリアの必要がないところの低圧ボリュームの飛散の場合の使用が意図されています。

静電気の警告:
静電気散逸服を着用する人は適切に接地されるものとします。使用者と地表の間の抵抗は例えば適切な履物を履くことにより$<10^8$ オームとする。本静的散逸性 (ESD) 衣服は直接接地 (例: 接地ケーブル) されるか接地された着用者を通じて接地されることができ、それにより適切なインデックス2または 3の内衣を通じて肌とインデックス1の外衣間の静電連続性が継続的に維持されます。静電気散逸服は引火性または爆発性雰囲気の存在下又は引火性または爆発性物質の取扱中開けたり脱いだりしないものとする。静的散逸性 (ESD) 衣服は大気の爆発の最小点火エネルギー が 0.016mJ を超えるところのゾーン1、2、20、21 及び222にての着用が意図されています。(EN 60079-10-1[7] 及びEN 60079-10-2[8]を参照) 静電気散逸服は責任ある安全技術者の事前の許可なく酸素富化雰囲気またはゾーン 0 で使用しないものとする。。(EN 60079-10-1[7]を参照)。静電気散逸防護服の静電気散逸性能は摩耗、洗濯及び汚染の可能性の影響を受けることがある。静電気散逸防護服は通常の使用中すべての不適合な資料を常に覆うものとする(屈伸や動作中を含む)。

保管及び処分:
本衣服は通常の保管慣行に従い保管されるべきで、紫外線に曝されない暗所が望ましい。処分は環境に害を与えないことが望ましい。使用されている不活性ポリマーは長持ちを保障するが経年により帯電防止性が低下する可能性があるため5年後の交換が推奨される。処分の制限は使用中の汚染のみによる。疑念を生じる場合、購入元にお問い合わせ下さい。製造元は生産した衣服の不適切な処分について責任を負う事はできません。

ULTITEC 3000T の性能チャート

織物の物理的特性 EN 14325:2018の分類に基づく		検査方法	結果	クラス
摩耗に対する抵抗		EN ISO 12947	>100 サイクル*	クラス 2*
屈曲亀裂に対する抵抗		EN ISO 7854-B	>50,000 サイクル*	クラス 6
台形引裂に対する抵抗	MD	EN ISO 9073-4	>40N	クラス 2
	CD		>20N	
抗張力	MD	EN ISO 13934-1	>100N	クラス 1
	CD		>30N	
穿刺に対する抵抗		EN 863	>10N	クラス 2
シーム強度		EN ISO 13935-2	>75N	クラス 3
制電性		EN 1149-5	合格	
pH値		EN ISO 3071	合格	
着火に対する抵抗		EN 13274-4	合格	

注意*　視覚的な終点を表す

液浸透および撥液性に対する抵抗 EN 14325:2018の分類に基づく	検査方法	浸透	撥液性
硫酸30%	EN ISO 6530	クラス 3	クラス 3
水酸化ナトリウム10%	EN ISO 6530	クラス 3	クラス 3
o-キシレン	EN ISO 6530	クラス 3	クラス 3
ブタン-1-オール	EN ISO 6530	クラス 3	クラス 3

液浸透および撥液性に対する抵抗 EN 14325:2018の分類に基づく	検査方法	織物	テープ
硫酸30%	EN ISO 6529	クラス 1	クラス 2

注意: 検査済の化学物質と結果の完全なリストについては地元の代理店までご連絡下さい

EN 14126:2003の感染剤に対する織物性能

ISO 16603:2004	ISO 16604:2004	ISO/DIS 22611:2003	ISO 22612:2005	ISO 22610:2006
クラス 6	クラス 6	クラス 3	クラス 3	クラス 6

全スーツのテスト性能

第4種 EN 14605:2005 スプレー試験 検査方法: EN ISO 17491-4:2008 方法:B	合格
第5種 EN ISO 13982-1:2004 内漏れ試験 検査方法: EN ISO 13982-2:2004　合格 = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	合格
放射性物質に対する防護服 検査方法: EN 1073-2:2002　耐ブロッキング性以外 (未試験)	クラス 1
第6種EN 13034:2005 低レベルスプレー試験 検査方法: EN ISO 17491-4:2008 方法:A	合格

製造元が作成、署名した適合性の宣言は下の製造元のウェブサイトにてアクセスが可能である

日本語　Indonesian

ULTITEC 3000T

型號 DD310T, DD320T, DD330T, DD340T　　第三類化學防護衣

此防護服遵守歐洲個人防護設備PPE指令 EU 2016/425 中關於化學防護服的要求以及任何參考標準

標示:
每件防護服都有一張內標及一張外標。內標標示歐盟規定所定义的保护等级，同时也提供其他使用相關訊息給最終使用者。外標有標示衣服的類型。

1 商標名稱
2 型號
3 此防護服遵守歐洲PPE法規 (EU) 2016/425 中，第三類防護產品的規範。歐盟形式檢驗(Module B)由芬蘭SGS發出(Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland)，認證機構號碼 CE 0598。符合質量保證書(Module D)由芬蘭SGS發出(Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland)，認證機構號碼 CE 0598。
4 Type 4　防噴沫防護服　EN 14605:2005 + A1:2009
Type 5　防粉塵防護服　EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Type 6　防微量噴霧防護服　EN 13034:2005 + A1:2009
5 此符號表示是有限次使用的化學防護服
6a ULTITEC 3000T 工作服經過抗靜電處理，僅在內層符合EN 1149-5:2018中要求的靜電防護，必須搭配輔助配件及工作模式方有效益（見註釋）
6b 此符號代表EN 1073-2:2002，與旁邊的三角形符號，代表排除章節4.2中要求的抗穿刺等級，以及黏著強度
6c 在Type型號後面的字母'-B"表示用在防護服的面料通過EN 14126:2003防生物危險源與傳染媒介測試
7 尺碼表: 請按您的體型選擇適當的尺碼

尺寸	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
胸圍 (公分)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
身高 (公分)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 穿戴者必須詳閱此說明書
9 此防護衣的處理方法: 不可洗滌、不可用乾衣機、不可熨燙或不可乾洗
10 不可重複使用
11 製造日期
12 附加警告: 易燃材質，遠離火源

遵守及責任:
為了完全達到Type 5/6和EN1073-2宣稱的特性，所有開口處，例如: 手腕、腳踝、領口 (含拉鏈翻蓋) 等處，應該安全密封。穿戴者應該判斷需要的防護等級，並且正確選擇其他防護配件和輔助設備。為了獲得完全保護，所有縫隙必需安全地密封，不過使用者應該瞭解並容許使用時的熱效應，可藉由穿著合適的衣物及通風設備減低或排除不適感。由於不當使用或選用不適合防護衣造成的意外或事故，製造商不負責。

限制:
接觸某些特定化學物質 (或許高浓度) 或高壓環境，可能需要更高阻隔性能的面料或是防護服。這樣的條件可以用Type 1-3的防護服或是多重保護性材料的防護服進行防護。必須穿著適合預計用途的鞋子，尤其是穿著帶靴防護服的時候必須要穿著鞋子。帶靴工作衣的靴套要穿著在鞋子里面，穿好後用膠帶將鞋筒用口處跟工作衣黏貼好。

卸除防護服:
當脫掉可能受污染的工作衣時需要特別小心，最好由旁人戴著手套協助脫下防護服，並且小心不讓污染物接觸協助人員或穿戴者。

適用場合:
這些防護服保護產品及人員免於受到有害物质的污染。依据毒性及環境條件，它們常用于防止空气中的顆粒和微量飛濺與噴霧。此化學防護服的性能要求已涵蓋在上述標準中，其中需要防止空气中固體顆粒滲透，包括放射性材料與感染因子。此外，它还适用于可能暴露于轻微喷雾液体气溶胶或液体飞溅的情况。

静电警告:
穿着静电消散衣的使用者应正确着地。彼此之间的电阻应为$<10^8$歐姆，例如: 在抗静电地板上穿着合适的鞋子。
此静电消散衣可以直接着地 (例如，接地电缆)，也可以通过穿着合适的指数2或3的衣服持续接触皮肤，并藉由指数1的外部服装，让身体直接接地来消散静电。
在易燃或易爆環境中或處理相關物質時，不得打開或移除静电消散衣。静电消散衣應在區域1、2、20、21和22中穿著 (請參閱EN 60079-10-1 [7]和EN 60079-10-2 [8])，因為在該易爆環境區域中，最小的點火能量不得小於0.016mJ。未經安全工程師事先批准，不得在區域0的高含氧量環境中使用静电消散服 (請參閱EN 60079-10-1 [7])。
静电耗散防护服的静电耗散性能可能受到磨損、洗涤和污染的影响。在正常使用 (包括弯曲和移动) 过程中，静电防护服应永久覆盖所有不相容的材料。

保存及处理:
防护服应采适当的储存措施保存，不曝露在戶外或陽光下，储存在室内陰涼通風處，保存期限可高於5年。使用的惰性聚合物可確保較長的保質期，但建議5年後進行更換，因為抗靜電性能或會隨著使用年限而降低。使用後以不危害環境的方式处理。处理的方式完全視受污染程度而定，受污染的防護衣則依化學廢棄物當地法規處理。使用者需對防護服的使用及使用後的處理負責。如有疑問，請洽供應商。對於防護衣不當使用或後續處置，製造商不承擔任何責任。

ULTITEC 3000T 性能表

面料物理性能 依據EN 14325:2018 分級		測試方法	結果	等級
耐磨性		EN ISO 12947	>100 次*	2 級*
抗彎曲開裂性		EN ISO 7854-B	>50,000 次*	6 級
抗撕裂性	MD	EN ISO 9073-4	>40牛頓	2 級
	CD		>20牛頓	
抗拉強度	MD	EN ISO 13934-1	>100牛頓	1 級
	CD		>30牛頓	
抗穿刺		EN 863	>10牛頓	2 級
接縫強度		EN ISO 13935-2	>75牛頓	3 級
防靜電		EN 1149-5	通過	
pH值		EN ISO 3071	通過	
抗燃點		EN 13274-4	通過	

注 * 表示目測判定結束點

面料抗液體化學品滲透性與抵抗性 依據 EN 14325:2018 分級	測試方法	滲透性	抵抗性
30% 硫酸	EN ISO 6530	3 級	3 級
10% 氫氧化鈉	EN ISO 6530	3 級	3 級
鄰二甲苯	EN ISO 6530	3 級	3 級
1-丁醇	EN ISO 6530	3 級	3 級

面料抗滲透的性能 依據 EN 14325:2018 分級	測試方法	面料	貼條
30%硫酸	EN ISO 6529	1 級	2 級

請聯繫當地經銷商以獲得最新版化學品測試清單與結果

依據 EN 14126:2003 測試面料抗生物感染性

ISO 16603:2004	ISO 16604:2004	ISO/DIS 22611:2003	ISO 22612:2005	ISO 22610:2006
6 級	6 級	3 級	3 級	6 級

衣服測試

Type 4 EN 14605:2009 噴霧測試 測試方法依據 EN ISO 17491-4:2008 方法B	通過
Type 5 內洩漏測試 EN ISO 13982-1:2004 測試方法依據 EN ISO 13982-2:2004　通過 = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	通過
放射性微粒防护服 測試方法依據 EN 1073-2:2002　排除第 4.2 要求及阻力抗性 (未測試)	1 級
Type 6 微量噴霧測試 EN 13034:2005 測試方法依據 EN ISO 17491-4:2008 方法A	通過

製造商簽署的一致性聲明可以在製造商網站上獲取

繁體中文　Korean

ULTITEC 3000T

Style No DD310T, DD320T, DD330T, DD340T　　Chemical protective clothing of Category III

This garment complies with the requirements of Regulation EU 2016/425 and any referenced standard

Marking:
Each coveralll is identified by an inside and an outside label. The inner label indicates the protective class as defined in the Regulation. It also gives other relevant information of use to the end user. The outer label identifies the type of garment.

1 Fabric type or Brand
2 Style number or Model identification
3 Products comply with the requirements for Category III PPE according to Regulation (EU) 2016/425. The EU Type examination (Module B) was issued by SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598). The conformity to quality assurance of production process certificates (Module D) was under the surveillance by SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)
4 Type 4　Splash Tight Clothing　EN 14605:2005 + A1:2009
Type 5　Particle Tight Clothing　EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Type 6　Limited Splash Tight Clothing　EN 13034:2005 + A1:2009
5 This pictogramme shows that the suit is for protection against chemicals
6a ULTITEC 3000T coveralls are antistatically treated and comply to the electrostatic protection required by EN1149-5:2018 on inner face only, and must be used with compatible accessories and work practices to be effective (see note below)
6b This pictogramme and triangle indicate radioactive protection to EN 1073-2:2002 excluding clause 4.2 puncture resistance and resistance to blocking
6c The letter'-B' after Type number indicates that fabric used in this coverall has been tested and passed to EN14126:2003 protection against infective agents
7 Size Information: Please choose the appropriate size

size	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
chest (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
height (cms	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 Wearer should read these instructions
9 Care Pictogrammes: Do not wash, Do not machine dry, Do not iron, Do not dry clean
10 Do not reuse
11 Date of manufacture
12 Additional Warning: Flammable material. Keep away from fire

Compliance and Responsibility:
In order to fully meet the performance claims for Types 4/5/6 and EN 1073-2 garments, all opening such as wrists, ankles, neck to hood (collared style), face to mask, and including the zipper flap should be securely taped. The user shall be sole judge of the suitability for the type of protection required, and the correct combinations of coveralls accessories and ancillary equipment. To obtain full protection all apertures should be securely closed, but the user shall determine, and allow for the effect of heat when in use. Heat stress and discomfort can be reduced or eliminated by the use of appropriate undergarments or ventilation equipment. The manufacturer is not responsible for accidents caused by improper behavior or inappropriate selection of protective clothing or ancillary equipment.

Limitations:
Exposure to certain chemicals or high concentrations or pressures, may require higher barrier properties of the fabric, or in the construction of the suit. Such conditions can be protected by garments made to the standards of Types1 to 3 or possibly by a more protective material. Footwear appropriate to the intended use must be worn, especially where boots (or socks) are attached. The integral boot is to be worn inside the appropriate footwear, and the aperture at the top of the footwear taped to the leg of the coverall.

Garment Removal:
Care should be taken with the removal of any garment which may have been contaminated. The use of an assistant wearing PPE should be used to peel back the garment from the wearer, taking care that no contaminant comes into contact with either the assistant or the wearer.

Areas of Use:
These coveralls are designed for protection against hazardous substances and contamination of both product and personnel. They are typically used, dependent upon the severity of the toxicity and the conditions, for protection against airborne particles and limited splash and spray. The performance requirements applicable to this chemical protective clothing garment are covered by the standards listed above where there is a need for resistance to penetration by airborne solid particles including radioactive materials. In addition it is intended for use in cases of potential exposure to light spray liquid aerosols or volume splashes where a complete permeation barrier is not required.

Electrostatic Warnings:
Both the electrostatic dissipative clothing and the person wearing it shall be properly earthed. The resistance between the person and the earth shall be $<10^8$ ohms e.g. by wearing adequate footwear on dissipative or conductive floors.
Electrostatic dissipative clothing shall not be opened or removed whilst in the presence of flammable or explosive atmospheres or while handling flammable or explosive substances.
Electrostatic dissipative clothing is intended to be worn in Zones 1, 2, 20, 21 & 22. (see EN 60079-10-1[7] and EN 60079-10-2[8]) in which the minimum ignition energy of any explosive of atmosphere is not less than 0.016mJ. Electrostatic dissipative clothing shall not be used in oxygen enriched atmospheres or in zone 0 without the prior approval of the responsible safety engineer (see EN 60079-10-1[7]).
The electrostatic dissipative performance of the electrostatic dissipative protective clothing can be affected by wear and tear, laundering and possible contamination.
Electrostatic dissipative protective clothing shall permanently cover all noncomplying materials during normal use. Including the zipper flap must be permanently and appropriately sealed. (including bending and movements).

Storage and Disposal:
The garments should be stored in accordance with normal storage practice, preferably in the dark with no UV light exposure and disposed harmlessly to the environment. The inert polymers used ensure a long shelf life but it is recommended that items should be replaced after 5 years as the antistatic properties may reduce with age. Restrictions on the disposal depend solely on the contamination during use. If in doubt please contact your supplier. The manufacturer cannot accept responsibility for any improper use or disposal of garments produced by them.

PERFORMANCE CHART OF ULTITEC 3000T

FABRIC PHYSICAL PROPERTIES BASED IN CLASSIFICATION IN EN 14325:2018		TEST METHOD	RESULT	CLASS
Abrasion Resistance Flex Cracking Resistance		EN ISO 12947 EN ISO 7854-B	>100 cycles* >50,000 cycles*	Class 2* Class 6
Trapezoidal Tear Resist.	MD	EN ISO 9073-4	>40N	Class 2
	CD		>20N	
Tensile Strength	MD	EN ISO 13934-1	>100N	Class 1
	CD		>30N	
Puncture Resistance		EN 863	>10N	Class 2
Seam Strength		EN ISO 13935-2	>75N	Class 3
Antistaticity		EN 1149-5	Pass	
pH Value		EN ISO 3071	Pass	
Resistance to Ignition		EN 13274-4	Pass	

Note * denotes vndpoint

RESISTANCE TO REPELLENCY AND PENETRATION BASED IN CLASSIFICATION IN EN 14325:2018	TEST METHOD	PENETRATION	REPELLENCY
Sulphuric Acid 30%	EN ISO 6530	Class 3	Class 3
Sodium Hydroxide 10%	EN ISO 6530	Class 3	Class 3
o-Xylene	EN ISO 6530	Class 3	Class 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	Class 3	Class 3

DETERMINATION OF RESISTANCE TO PERMEATION BASED IN CLASSIFICATION IN EN 14325:2018	TEST METHOD	FABRIC	TAPED SEAM
Sulphuric Acid 30%	EN ISO 6529	Class 1	Class 2

Note: Please contact local distributor for full list of tested chemicals and the results

FABRIC PERFORMANCE AGAINST INFECTIVE AGENTS IN EN 14126:2003

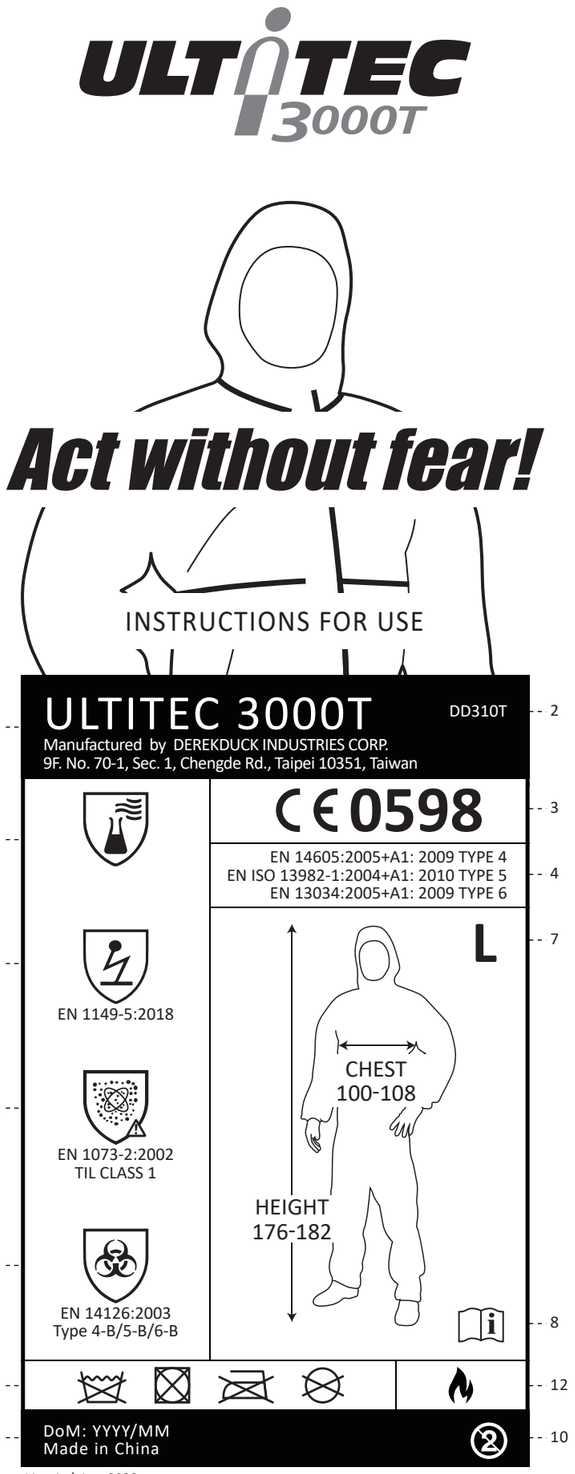
ISO 16603:2004	ISO 16604:2004	ISO/DIS 22611:2003	ISO 22612:2005	ISO 22610:2006
Class 6	Class 6	Class 3	Class 3	Class 6

WHOLE SUIT TEST PERFORMANCE

Type 4 EN 14605:2005 Spray Test Test method: EN ISO 17491-4:2008 Method:B	Pass
Type 5 EN ISO 13982-1:2004 Inward Leakage Test Test method: EN ISO 13982-2:2004　pass = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	Pass
Protective clothing against radioactive materials Test method: EN 1073-2:2002 excluding resistance to blocking (not tested)	Class 1
Type 6 EN 13034:2005 Low Level Spray Test Test method: EN ISO 17491-4:2008 Method:A	Pass

A DECLARATION OF CONFORMITY PREPARED AND SIGNED BY THE MANUFACTURER CAN BE ACCESSED ON THE MANUFACTURER'S WEBSITE

English　简体中文



DEREKDUCK INDUSTRIES CORP.
9F. No. 70-1, Sec. 1, Chengde Rd., Taipei 10351, Taiwan
+886-2-2550-8856
+886-2-2550-2236
derekduck@derekduck.com
DEREKDUCK
WWW.DEREKDUCK.COM
ultitec-protection.com

ULTITEC 3000T

No Style: DD310T, DD320T, DD330T, DD340T　　Pakaian pelindung dari bahan kimia kategori III

Pakaian ini mematuhi persyaratan dalam Peraturan Uni Eropa 2016/425 serta semua standar yang dirujuk

Penanda:
Setiap pakaian pelindung seluruh tubuh diidentifikasi dengan label di dalam dan di luar. Label di bagian dalam menunjukkan kelas perlindungan seperti yang ditetapkan dalam Peraturan tersebut. Label ini juga memberikan informasi penggunaan lainnya yang terkait kepada penggunanya. Label di bagian luar
1 Jenis Bahan atau Merek
2 Nomor Style atau Identifikasi Model
3 Produk memenuhi persyaratan untuk Kategori III PPE menurut Peraturan Eropa (EU) 2016/425. Tes Tipe EU (Modul B) dikeluarkan oleh SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598). Kesesuaian dengan jaminan kualitas sertifikat proses produksi (Modul D) berada di bawah pengawasan oleh SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598).
4 Tipe 4　Pakaian Ketat Pelindung dari Cipratan　EN 14605:2005 + A1:2009
Tipe 5　Pakaian Ketat Pelindung dari Partikel　EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Tipe 6　Pakaian Ketat Pelindung dari Cipratan Terbatas　EN 13034:2005 + A1:2009
5 Gambar ini menunjukkan bahwa ini adalah pakaian pelindung terhadap bahan kimia
6a Pakaian pelindung seluruh tubuh ULTITEC 3000T telah diproses secara anti-statik dan mematuhi perlindungan terhadap listrik statis yang dipersyaratkan oleh EN1149-5:2018 hanya untuk wajah bagian dalam, dan harus dipakai dengan aksesori serta praktik kerja yang cocok agar berfungsi dengan efektif. (lihat catatan di bawah)
6b Gambar dan segitiga ini menunjukkan perlindungan terhadap radioaktif EN 1073-2:2002 tidak termasuk klausa 4.2 mengenai ketahanan tembus dan ketahanan terhadap menempelnya bahan radioaktif.
6c Huruf'-B' setelah nomor Tipe menunjukkan bahwa bahan pakaian yang digunakan dalam pakaian pelindung seluruh tubuh ini telah diuji dan lulus terhadap perlindungan terhadap zat yang menyebabkan infeksi seperti yang diatur dalam EN14126:2003
7 Informasi Ukuran: Silakan pilih ukuran yang sesuai.

ukuran	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
dada (cm)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
tinggi (cm)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

Pengguna harus membaca instruksi ini
8 Gambar Petunjuk Perawatan: Jangan dicuci, Jangan dikeringkan dengan mesin, Jangan disetrika,
9 Jangan dicuci kering.
10 Jangan dipakai ulang
11 Tanggal produksi
12 Peringatan Tambahan: Bahan mudah terbakar. Jauhkan dari api

Kepatuhan dan tanggung jawab:
Agar dapat memenuhi klaim kinerja untuk pakaian Tipe 5/6 dan EN 1073-2, semua celah seperti pergelangan tangan, mata kaki, leher, dan termasuk bagian ritsleting harus ditempeli pita perekat dengan rapat.Pengguna wajib menjadi penilai satu-satunya terhadap kecocokan jenis perlindungan yang dibutuhkan, serta terhadap kombinasi aksesori baju pelindung seluruh tubuh dan perlengkapan tambahan yang tepat. Untuk memperoleh perlindungan lengkap semua celah harus ditutup dengan rapat, tetapi penggunanya wajib menentukan, dan mengizinkan pengaruh panas ketika dipakai. Stres akibat panas dan ketidaknyamanan dapat dikurangi atau dihilangkan dengan penggunaan pakaian dalam atau perlengkapan ventilasi yang tepat.Produsen tidak bertanggung jawab atas kecelakaan yang disebabkan perilaku yang tidak benar atau pemilihan pakaian pelindung atau perlengkapan pendukung yang tidak sesuai.

Batasan:
Paparan terhadap bahan kimia atau konsentrasi atau tekanan tinggi tertentu, mungkin memerlukan sifat bahan pakaian atau rancang buat pakaian dengan perlindungan yang lebih tinggi. Kondisi seperti demikian dapat dilindungi oleh pakaian yang dibuat sesuai standar Tipe 1 sampai 3 atau bisa juga oleh bahan yang lebih memiliki daya lindung.Alas kaki yang sesuai dengan tujuan penggunaan harus dikenakan, terutama di tempat dipasangnya sepatu bot (atau kaus kaki). Sepatu bot bagian dalam harus dipakai di dalam alas kaki yang sesuai, dan celah di bagian atas alas kaki direkatkan dengan bagian kaki baju pelindung seluruh tubuh.

Melepaskan pakaian:
Kewaspadaan dan kehati-hatian harus dilakukan saat melepaskan pakaian apa pun yang mungkin telah terkontaminasi. Jika ada asisten, maka ia wajib memakai sarung tangan untuk melepaskan pakaian dari pemakainya, berhati-hati agar tidak ada bahan kontaminan yang berkontak dengan asisten atau pun yang memakai pakaian pelindung.

Area penggunaan:
Pakaian pelindung seluruh tubuh ini dirancang untuk memberikan perlindungan terhadap zat berbahaya dan kontaminasi baik pada produk maupun pada orang. Pakaian ini biasanya digunakan, bergantung dari keparahan toksisitas serta kondisinya, untuk melindungi terhadap partikel yang ada di udara serta cipratan dan semprotan terbatas.Persyaratan kinerja yang berlaku untuk bahan pakaian pelindung dari bahan kimia ini tercakup oleh standar yang tertera di atas yang berisi kebutuhan akan ketahanan tembus oleh partikel padat di udara termasuk bahan radioaktif. Selain itu, pakaian ini ditujukan untuk digunakan dalam kejadian adanya kemungkinan terpapar ke semprotan aerosol cair ringan atau cipratan cairan dalam volume ringan di mana perlindungan sempurna terhadap rembesan tidak diperlukan.

Peringatan listrik statis:
Orang yang memakai pakaian peluruh listrik statis harus dibumikan dengan layak. Hambatan listrik antara pemakai dengan bumi harus $<10^8$ ohm, misalnya dengan memakai alas kaki yang mencukupi. Pakaian peluruh listrik statis tidak boleh dibuka atau dilepaskan saat berada di sekitar atmosfer yang mudah terbakar atau meledak atau saat sedang menangani zat yang mudah terbakar atau meledak. Pakaian disipatif elektrostatis dimaksudkan untuk dipakai dalam Zona 1, 2, 20, 21 & 22. (lihat EN 60079-10-1[7] and EN 60079-10-2[8]) di mana energi penyalaan minimum dari setiap ledakan atmosfer tidak kurang dari 0,016mJ.Pakaian peluruh listrik statis tidak boleh digunakan dalam kondisi atmosfer yang kandungan oksigennya diperkaya tanpa persetujuan lebih dahulu dari insinyur keselamatan yang bertanggung jawab. Kinerja peluruhan listrik statis dari pakaian peluruh listrik statis dapat dipengaruhi oleh keausan dan sobek, pencucian dan kontaminasi yang mungkin terjadi. (lihat EN 60079-10-1[7]).Pakaian peluruh listrik statis harus secara permanen menutupi semua bahan yang tidak memenuhi persyaratan selama penggunaan wajar (termasuk ketika menekuk dan bergerak).

Penyimpanan dan Pembuangan:
Pakaian harus disimpan sesuai dengan praktik penyimpanan wajar, lebih baik dalam keadaan gelap tanpa paparan sinar UV dan dibuang tanpa merusak lingkungan. Polimer inert yang digunakan menjamin umur simpan yang lama tetapi dianjurkan agar produk diganti setelah 5 tahun karena sifat anti-statik dapat berkurang seiring makin menuanya umur produk.Pembatasan mengenai pembuangan produk hanya bergantung pada kontaminasi yang terjadi selama penggunaan. Jika ragu, silakan hubungi pemasok Anda. Produsen tidak bertanggung jawab atas penggunaan atau pembuangan secara tidak pantas atas pakaian yang diproduksi mereka.

DIAGRAM KINERJA ULTITEC 3000T

SIFAT FISIK BAHAN PAKAIAN BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018		METODE UJI	HASIL	KELAS
Ketahanan Abrasi		EN ISO 12947	>100 siklus*	Kelas 2*
Ketahanan Retak Lentur		EN ISO 7854-B	>50,000 siklus*	Kelas 6
Ketahanan Sobek Trapezoidal	MD	EN ISO 9073-4	>40N	Kelas 2
	CD		>20N	
Kekuatan Tarik	MD	EN ISO 13934-1	>100N	Kelas 1
	CD		>30N	
Ketahanan Tembus		EN 863	>10N	Kelas 2
Kekuatan Sambungan		EN ISO 13935-2	>75N	Kelas 3
Sifat Anti-statik		EN 1149-5	Lulus	
Nilai pH		EN ISO 3071	Lulus	
Ketahanan terhadap Penyalaan		EN 13274-4	Lulus	

Catatan * menandakan titik ujung penglihatan

KETAHANAN TERHADAP DAYA TOLAK DAN PEREMBESAN BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018	METODE UJI	PEREMBESAN	DAYA TOLAK
Asam Sulfat 30%	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
Natrium Hidroksida 10%	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
o-Xylene	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3

PENENTUAN KETAHANAN PEREMBESAN** BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018	METODE UJI	BAHAN PAKAIAN	PITA PEREKAT
Asam Sul

ULTITEC 3000T

Números de estilo DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Ropa de protección química de categoría III

Esta prenda cumple con los requisitos del Reglamento de la UE 2016/425 y de cualquier norma referenciada

Señalización:
Cada buzo está identificado con una etiqueta interior y otra exterior. La etiqueta interior indica la clase de protección definida en el reglamento. También proporciona otra información relevante de uso para el usuario final. La etiqueta exterior i dentifica el tipo de prenda.

1 Tipo de tejido o marca
2 Número de estilo o identificación del modelo
3 Los productos cumplen con los requisitos para los EPI de categoría III de acuerdo con el Reglamento Europeo (UE) 2016/425. La revisión del tipo UE (módulo B) fue expedido por SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598). La conformidad con la garantía de calidad de los certificados del proceso de producción (Módulo D) fue supervisada por SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)
4 Tipo 4 Splash Tight Clothing EN 14605:2005 + A1:2009
Tipo 5 Ropa apretada contra partículas EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Tipo 6 Ropa ajustada para salpicaduras limitadas EN 13034:2005 + A1:2009
5 Este pictograma muestra que el traje es para la protección contra los productos químicos.
6a ULTITEC 3000T coveralls are antistatically treated and comply to the electrostatic protection required by EN1149-5:2018 on inner face only, and must be used with compatible accessories and work practices to be effective.(see note below)
6b Este pictograma y triángulo indican la protección radiactiva de conformidad con la norma EN 1073-2:2002, que excluye la resistencia a la perforación y la resistencia al bloqueo.
6c La letra'-B' después del número de tipo indica que el tejido utilizado en este buzo ha sido probado y aprobado por la norma EN14126:2003 sobre protección contra agentes infecciosos.
7 Información sobre las tallas: Por favor, elija el tamaño apropiado.

tamaño	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
pecho (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
altura (cms)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 El usuario debe leer estas instrucciones
9 Pictogramas de cuidado: No lavar, no secar a máquina, no planchar, no limpiar en seco.
10 No reutilizar
11 Fecha de fabricación
12 Advertencia adicional: Material inflamable . Mantener alejado del fuego

Cumplimiento y responsabilidad:
Para satisfacer plenamente las exigencias de rendimiento de las prendas de los tipos 5/6 y EN 1073-2, todas las aberturas, como las muñecas, los tobillos y el cuello, incluida la solapa de la cremallera, deben estar bien cerradas con cinta adhesiva.
El usuario será el único juez de la idoneidad para el tipo de protección requerido y de las combinaciones correctas de los accesorios del buzo y del equipo auxiliar. Para obtener una protección total, todas las aberturas deben estar cerradas de forma segura, pero el usuario debe determinar y tener en cuenta el efecto del calor durante su uso. El estrés por el calor y la incomodidad pueden reducirse o eliminarse mediante el uso de ropa interior adecuada o equipos de ventilación.El fabricante no se hace responsable de los accidentes causados por un comportamiento inadecuado o una selección inadecuada de ropa de protección o equipo auxiliar.
Limitaciones:
La exposición a ciertos productos químicos o a altas concentraciones o presiones, puede requerir mayores propiedades de barrera del tejido, o en la construcción del traje. Estas condiciones pueden protegerse con prendas de vestir que cumplan las normas de los tipos 1 a 3 o, posiblemente, con un material más protector.Se debe usar calzado apropiado para el uso previsto, especialmente cuando las botas (o los calcetines) están fijados. La bota integral debe llevarse dentro del calzado apropiado, y la abertura en la parte superior del calzado pegada con cinta adhesiva a la pierna del overol.
Quitarse la prenda:
Se debe tener cuidado al quitarse cualquier prenda que pueda haber sido contaminada. Se debe usar la ayuda un asistente con guantes para despegar la prenda del usuario, teniendo cuidado de que ningún contaminante entre en contacto con el asistente o con el usuario.
Áreas de uso:
Estos buzos están diseñados para proteger contra sustancias peligrosas y la contaminación tanto del producto como del personal. Se utilizan típicamente, dependiendo de la severidad de la toxicidad y las condiciones, para la protección contra partículas en el aire y salpicaduras y rocío limitado.Los requisitos de rendimiento aplicables a esta prenda de protección química están contemplados en las normas enumeradas anteriormente, en las que se establece la necesidad de resistencia a la penetración de partículas sólidas transportadas por el aire, incluidos los materiales radiactivos. Además, está diseñado para su uso en casos de exposición potencial a aerosoles líquidos de pulverización ligeros o salpicaduras de volumen en los que no se requiere una barrera de permeación completa.
Advertencias electrostáticas:
La persona que use ropa disipadora de electrostática deberá estar debidamente conectada a tierra. La resistencia entre la persona y la tierra será <10^8 ohmios, por ejemplo, usando calzado adecuado.Las prendas disipadoras de electrostática no deberán abrirse ni retirarse en presencia de atmósferas inflamables o explosivas o mientras se manipulen sustancias inflamables o explosivas. La ropa disipadora de electrostática está diseñada para ser usada en Zonas 1, 2, 20, 21 y 22. (Vea EN 60079-10-1[7] y EN 60079-10-2[8]) en las que la energía mínima de ignición de cualquier explosivo de la atmósfera no es inferior a 0.016mJ.Las prendas de protección disipadoras de electrostática no deben utilizarse en atmósferas enriquecidas con oxígeno sin la aprobación previa del ingeniero de seguridad responsable, ya que el rendimiento disipador de electrostática de las prendas de protección disipadoras de electrostática puede verse afectado por el desgaste, el lavado y la posible contaminación. (Vea EN 60079-10-1[7]).Las prendas de protección antiestáticas disipadoras de la electricidad estática deberán cubrir de forma permanente todos los materiales que no se ajusten a las normas durante su uso normal ("incluidas las flexiones y los movimientos").
Almacenamiento y eliminación:
Las prendas deben almacenarse de acuerdo con las prácticas normales de almacenamiento, preferiblemente en la oscuridad, sin exposición a la luz ultravioleta, y desecharse sin dañar el medio ambiente. Los polímeros inertes utilizados aseguran una larga vida útil, pero se recomienda reemplazar los artículos después de 5 años, ya que las propiedades antiestáticas pueden reducirse con el paso del tiempo.Las restricciones en la eliminación dependen únicamente de la contaminación durante el uso. En caso de duda, póngase en contacto con su proveedor. El fabricante no se responsabiliza del uso o eliminación inadecuados de las prendas producidas por él.

TABLA DE RENDIMIENTO DE ULTITEC 3000T

PROPIEDADES FÍSICAS DEL TEJIDO BASADA EN LA CLASIFICACIÓN EN LA NORMA EN 14325:2018		MÉTODO DE PRUEBA	RESULTADO	CLASE
Resistencia a la abrasión		EN ISO 12947	>100 ciclos*	Clase 2*
Resistencia al agrietamiento por flexión		EN ISO 7854-B	>50,000 ciclos*	Clase 6
Resistencia a rotura trapezoidal.	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Clase 2
Resistencia a la tracción	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Clase 1
Resistencia a rajarse		EN 863	>10N	Clase 2
Resistencia de la costura		EN ISO 13935-2	>75N	Clase 3
Antiestática		EN 1149-5	Aprobado	
Valor de pH		EN ISO 3071	Aprobado	
Resistencia a la ignición		EN 13274-4	Aprobado	
Nota * indica el punto final visual				

RESISTENCIA A LA REPELENCIA Y A LA PENETRACIÓN BASADA EN LA CLASIFICACIÓN EN LA NORMA EN 14325:2018	MÉTODO DE PRUEBA	RESULTADO	CLASE
Ácido sulfúrico 30%.	EN ISO 6530	Clase 3	Clase 3
Hidróxido de sodio 10%.	EN ISO 6530	Clase 3	Clase 3
o-Xileno	EN ISO 6530	Clase 3	Clase 3
1 Butanol	EN ISO 6530	Clase 3	Clase 3

DETERMINACIÓN DE LA RESISTENCIA A LA PERMEACIÓN BASADA EN LA CLASIFICACIÓN EN LA NORMA EN 14325:2018	MÉTODO DE PRUEBA	TEJIDO	CINTA
Ácido sulfúrico 30%	EN ISO 6529	Class 1	Class 2
Nota: Póngase en contacto con el distribuidor local para obtener la lista completa de productos químicos probados y los resultados.			

COMPORTAMIENTO DEL TEJIDO FRENTE A AGENTES INFECCIOSOS EN LA EN 14126:2003				
ISO 16603:2004 Clase 6	ISO 16604:2004 Clase 6	ISO/DIS 22611:2003 Clase 3	ISO 22612:2005 Clase 3	ISO 22610:2006 Clase 6

WHOLE SUIT TEST PERFORMANCE	
Tipo 4 EN 14605:2005 Método de prueba: EN ISO 17491-4:2008 Método:B	Aprobado
Tipo 5 EN ISO 13982-1:2004 Ensayo de fuga interior Método de prueba: EN ISO 13982-2:2004 aprobado = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	Aprobado
Ropa de protección contra materiales radiactivos Método de prueba: EN 1073-2:2002 excluida la resistencia al bloqueo (no probada)	Clase 1
Tipo 6 EN 13034:2005 Ensayo de pulverización de bajo nivel Método de prueba: EN ISO 17491-4:2008 método:A	Aprobado

EN EL SITIO WEB DEL FABRICANTE PUEDE CONSULTARSE UNA DECLARACIÓN DE CONFORMIDAD ELABORADA Y FIRMADA POR EL FABRICANTE, TAL COMO SE INDICA A CONTINUACIÓN

Spanish

ULTITEC 3000T

Stil No. DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Kategori III kimyasal koruyucu giysiler

Bu giysi, AB 2016/425 sayılı Tüzüğün gereklerine ve referans verilen herhangi bir standarta uygundur.

Markaj:
Her tulum birer iç ve dış etiket ile tanımlanır. İç etiket, yönetmelikte tanımlandığı şekilde koruyucu sınıfı gösterir. Aynı zamanda, son kullanıcı için kullanımla ilgili diğer bilgileri verir. Dış etiket, giysi türünü tanımlar.

1 Kumaş türü veya marka
2 Stil numarası veya Model tanımı
3 Ürünler, Avrupa Yönetmeliği (AB) 2016/425 uyarınca Kategori III KKD gerekliliklerine uygundur. AB Tip incelemesi (Modül B) SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finlandiya, (N.B. 0598) tarafından hazırlanmıştır. Üretim süreci sertifikalarının kalite güvencesine uygunluk (Modül D) SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finlandiya, (N.B. 0598) tarafından gözetim altında olmuştur.
4 Tip 4 Sıçrama Sıkı Giysi EN 14605:2005 + A1:2009
Tip 5 Parçacık Sıkı Giysi EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Tip 6 Sınırlı Sıçrama Sıkı Giysi EN 13034:2005 + A1:2009
5 Bu piktogram, giysinin kimyasallara karşı korunma için olduğunu göstermektedir
6a ULTITEC 3000T tulumları antistatik işlem görmüştür, sadece yüz bölgesinde EN1149-5:2018 tarafından talep edilen elektrostatik korumaya uygundur ve etkili olması için uyumlu aksesuarlarla ve çalışma uygulamalarıyla kullanılmalıdır (bkz. Aşağıdaki not).
6b Bu piktogram ve üçgen, madde 4.2 delinme direnci ve blokaja karşı direnç hariç EN 1073-2:2002'ye göre radyoaktif korumayı gösterir.
6c Tip numarasından sonraki '-B' harfi, bu tulumda kullanılan kumaşın test edildiğini ve bulaşıcı maddelere karşı EN 14126:2003 korumasını geçtiğini belirtir.
7 Beden Bilgileri: Lütfen uygun bedeni seçin.

beden	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
göğüs (cm)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
boy (cm)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 Kullanıcı bu talimatları okumalıdır
9 Bakım Piktogramları: Makinede kurutmayın, yıkamayın, ütülemeyin, kuru temizleme yapmayın.
10 Tekrar kullanmayın
11 İmalat tarihi
12 Ek Uyarı: Alev alabilen malzeme. Ateşten uzak tutun.

Uyum ve Sorumluluk:
Tip 5/6 ve EN 1073-2 giysilerinin performans taleplerini tam olarak karşılamak için, bilek, ayak bilekleri, boyun ve fermuar kapağı dahil tüm açıklıklar güvenli bir şekilde bantlanmalıdır.Kullanıcı, gereken koruma tipine uygunluğun ve tulum aksesuarları ile yardımcı ekipmanın doğru kombinasyonlarının tek yargılayıcısı olacaktır. Tam koruma sağlamak için tüm açıklıklar güvenli bir şekilde kapatılmalıdır, ancak kullanıcı kullanım sırasında ısının etkisini belirlemeli ve izin vermelidir. Isı stresi ve rahatsızlık, uygun iç çamaşırların veya havalandırma ekipmanının kullanılmasıyla azaltılabilir veya ortadan kaldırılabilir.Uygun olmayan davranışlardan veya uygun olmayan koruyucu kıyafet ya da yardımcı ekipman seçiminden kaynaklanan kazalardan üretici sorumlu değildir.
Kısıtlamalar:
Bazı kimyasallara veya yüksek konsantrasyonlara veya basınçlara maruz kalmak, daha yüksek koruma özelliklerine sahip kumaş veya giysinin yapımını gerektirebilir. Bu tür koşullarda, Tip 1 ila 3 standartlarına uygun yapılan giysilerle veya muhtemelen daha koruyucu bir materyalle korunulabilir.Kullanım amacına uygun ayakkabılar, özellikle botların (veya çorabın) takıldığı yerlere giyilmelidir. İç bot uygun bir ayakkabının içine giyilmeli ve ayakkabının üstündeki açıklık tulumun bacağına bantlanmalıdır.
Kıyafeti Çıkarma:
Kirlenmiş olabilecek herhangi bir giysinin çıkarılmasına özen gösterilmelidir. Eldiven giyen bir asistan, giysinin asistanla veya kullanıcı ile temas etmemesine dikkat ederek giysiyi kullanıcıdan soymak için kullanılmalıdır.
Kullanım alanları:
Bu tulumlar, tehlikeli maddelere karşı koruma ve hem ürünün hem de personelin kirlenmesine karşı tasarlanmıştır. Bu tulumlar genel olarak, havadaki partiküllere ve sınırlı sıçrama ve püskürmeye karşı korunma için toksisitenin ciddiyetine ve koşullarına bağlı olarak kullanılır.Bu kimyasal koruyucu giysi için geçerli olan performans gereksinimleri, radyoaktif maddeler ve alev geciktiriciler de dahil olmak üzere havadaki katı partiküllerin nüfuz etmesine karşı direnç gerektiren, yukarıda listelenen standartlar kapsamındadır. Ek olarak, tam bir geçirgenlik engeline ihtiyaç duyulmayan hafif püsküren sıvı aerosollere veya düşük basınçlı ve hacimli sıçramalara potansiyel olarak maruz kalma durumlarında kullanılması amaçlanmıştır.
Elektrostatik Uyarılar:
Elektrostatik dağıtıcı giysiyi giyen kişi uygun şekilde topraklanmalıdır. Kişi ve toprak arasındaki direnç 10^8 ohm'dan düşük olmalıdır, örn. uygun ayakkabı giyerek. Elektrostatik dağıtıcı giysiler yanıcı veya patlayıcı ortamların bulunduğu ortamlarda veya yanıcı veya patlayıcı maddelerle çalışırken açılmamalı veya sökülmemelidir. Elektrostatik yük dağıtıcı koruyucu giysiler, herhangi bir atmosfer patlayıcısının minimum ateşleme enerjisinin 0.016mJ'den az olmadığı Bölge 1, 2, 20, 21 ve 22'de (bkz. EN 60079-10-1 [7] ve EN 60079-10-2 [8]).Elektrostatik dağıtıcı giysi, sorumlu güvenlik mühendisinin önceden onayı olmadan oksijenle zenginleştirilmiş ortamlarda kullanılmamalıdır. Elektrostatik dağıtıcı koruyucu giysinin elektrostatik dağıtım performansı, aşınma ve yırtılma, yıkama ve olası kirlenmeden etkilenebilir. (bkz. EN 60079-10-1[7]). Elektrostatik dağıtıcı koruyucu giysi, normal kullanım sırasında (bükülme ve hareketler dahil) tüm uygun olmayan malzemeleri kalıcı olarak kaplamalıdır.
Depolama ve İmha Etme:
Giysiler normal depolama uygulamasına uygun olarak, tercihen karanlıkta UV ışığına maruz kalmadan depolanmalı ve çevreye zarar vermeyecek şekilde ortadan kaldırılmalıdır. Kullanılan inert polimerler uzun bir raf ömrü sağlar, ancak antistatik özellikler zamanla azalabileceği için ürünlerin 5 yıl sonra değiştirilmesi önerilir.İmha ile ilgili kısıtlamalar, yalnızca kullanım sırasında oluşan kirlenmeye bağlıdır. Şüphe durumunda lütfen tedarikçinize başvurun. Üretici, ürettiği giysilerin yanlış kullanımı veya imhası için sorumluluk kabul edemez.

ULTITEC 3000T 'İN PERFORMANS ŞEMASI

KUMAŞIN FİZİKSEL ÖZELLİKLERİ EN 14325:2018'DEKİ SINIFLANDIRMAYA DAYALI		TEST METODU	SONUÇ	SINIF
Aşınma direnci		EN ISO 12947	>100 döngü*	Sınıf 2*
Esneklik Çatlama Direnci		EN ISO 7854-B	>50,000 döngü*	Sınıf 6
Trapez Yırtılma Direnci	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Sınıf 2
Gerilme Direnci	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Sınıf 1
Delinme Direnci		EN 863	>10N	Sınıf 2
Dikiş Gücü		EN ISO 13935-2	>75N	Sınıf 3
Anti-statiklik		EN 1149-5	Geçti	
pH Değeri		EN ISO 3071	Geçti	
Alev Almaya Karşı Direnç		EN 13274-4	Geçti	
Not * görsel bitiş noktasını gösterir				

GEÇİRMEZLİK VE PENETRASYONA DİRENÇ EN 14325:2018'DEKİ SINIFLANDIRMAYA DAYALI	TEST METODU	PENETRASYON	GEÇİRMEZLİK
Sülfürik Asit 30%	EN ISO 6530	Sınıf 3	Sınıf 3
Sodyum Hidroksit 10%	EN ISO 6530	Sınıf 3	Sınıf 3
o-Xylene	EN ISO 6530	Sınıf 3	Sınıf 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	Sınıf 3	Sınıf 3

SIZMAYA KARŞI DİRENÇ TESPİTİ EN 14325:2018'DEKİ SINIFLANDIRMAYA DAYALI	TEST METODU	KUMAŞ	BANT
Sülfürik Asit 30%	EN ISO 6529	Sınıf 1	Sınıf 2
Not : Test edilen kimyasalların ve sonuçlarının tam listesi için lütfen yerel distribütöre başvurun.			

EN 14126:2003'DEKİ BULAŞICI ETKENE KARŞI KUMAŞ PERFORMANSI				
ISO 16603:2004 Sınıf 6	ISO 16604:2004 Sınıf 6	ISO/DIS 22611:2003 Sınıf 3	ISO 22612:2005 Sınıf 3	ISO 22610:2006 Sınıf 6

BÜTÜN KIYAFET TEST PERFORMANSI	
Tip 4 EN 14605:2005 Püskürtme Testi Test metodu: EN ISO 17491-4:2008 Metod:B	Geçti
Tip 5 EN ISO 13982-1:2004 İç Sızma Testi Test metodu: EN ISO 13982-2:2004 geçiş = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	Geçti
Radyoaktif maddelere karşı koruyucu giysi Test metodu: EN 1073-2:2002 blokaja karşı direnç hariç (test edilmedi)	Sınıf 1
Tip 6 EN 13034:2005 Düşük Seviyeli Püskürtme Testi Test metodu: EN ISO 17491-4:2008 Metod:A	Geçti

ÜRETİCİ TARAFINDAN HAZIRLANMIŞ VE İMZALANMIŞ BİR UYGUNLUK BEYANINA AŞAĞIDA VERİLEN ÜRETİCİ WEB SİTESİNDEN ERİŞİLEBİLİR

Turkish

ULTITEC 3000T

Mã hiệu: DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Quần áo bảo vệ chống hóa chất danh mục III

Trang phục này tuân thủ các yêu cầu của Quy định châu Âu 2016/425 và mọi tiêu chuẩn được tham chiếu

Nhãn:
Mỗi bộ quần áo được xác định bởi một nhãn bên trong và bên ngoài. Nhãn bên trong cho biết cấp bảo vệ theo định nghĩa trong Quy định. Nhãn này cũng thể hiện thông tin sử dụng liên quan khác dành cho người dùng. Nhãn bên ngoài cho biết loại trang phục.

1 Loại vải hoặc Nhãn hiệu
2 Mã hiệu hoặc Nhận dạng mẫu
3 Các sản phẩm tuân thủ các yêu cầu đối với PPE loại III theo Quy định Châu Âu (EU) 2016/425. Bài nghiên cứu loại EU (Mô-đun B) do SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Phần Lan, (N.B. 0598) cung cấp. Các chứng chỉ quy trình sản xuất (Mô-đun D) phù hợp đảm bảo chất lượng dưới sự giám sát của SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Phần Lan, (N.B. 0598)
4 Loại 4 Trang phục bó sát chống bắn tóe EN 14605:2005 + A1:2009
Loại 5 Trang phục bó sát chống phân tử EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Loại 6 Trang phục bó sát hạn chế bắn tóe: EN 13034:2005 + A1:2009
5 Ký hiệu này cho biết bộ đồ là để bảo vệ chống hóa chất
6a Bộ quần áo ULTITEC 3000T được xử lý chống tĩnh điện và tuân thủ yêu cầu bảo vệ tĩnh điện theo của EN1149-5:2018 chỉ ở mặt trong, và phải được sử dụng cùng các phụ kiện tương thích và thực hành làm việc để phát huy hiệu quả. (xem lưu ý bên dưới)
6b Ký hiệu này và hình tam giác cho biết bảo vệ phóng xạ theo EN 1073-2:2002 không bao gồm điều 4.2 sức kéo thủng và khả năng chống chặn.
6c Chữ '-B 'sau số Loại cho biết rằng vải được sử dụng trong bộ quần áo này đã được thử nghiệm và đạt theo EN14126:2003 chống các tác nhân lây nhiễm
7 Thông tin kích cỡ: Vui lòng chọn kích cỡ phù hợp.

kích cỡ	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
vòng ngực (cm)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
chiều cao (cm)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 Người mặc cần đọc các hướng dẫn này
9 Ký hiệu sử dụng: Không sấy khô bằng máy, Không giặt, Không ủi, Không giặt khô.
10 Không tái sử dụng
11 Ngày sản xuất
12 Cảnh báo bổ sung: Vật liệu dễ cháy. Tránh xa ngọn lửa

Tuân thủ và trách nhiệm:
Để đáp ứng đầy đủ các yêu cầu về hiệu suất đối với quần áo Loại 5/6 và EN 1073-2, cần phải dán chắc chắn tất cả các chỗ hở như cổ tay, mắt cá chân, cổ và bao gồm nắp khóa kéo. Người sử dụng là người duy nhất phán xét về sự phù hợp của loại bảo vệ cần thiết và sự kết hợp chính xác của các phụ kiện quần áo và thiết bị phụ trợ. Để được bảo vệ toàn diện, tất cả các chỗ hở phải được bít kín, và người dùng phải xác định cũng như cho phép tác động của nhiệt khi sử dụng. Có thể sử dụng đồ lót hoặc thiết bị thông gió thích hợp để giảm bớt hoặc loại bỏ căng thẳng nhiệt và sự khó chịu.Nhà sản xuất không chịu trách nhiệm cho các vụ tai nạn xảy ra do hành vi hoặc việc lựa chọn không phù hợp trang phục bảo vệ hoặc thiết bị phụ kiện.
Hạn chế:
Việc tiếp xúc với một số hóa chất hoặc nồng độ hay áp suất cao có thể yêu cầu tính chất cản cao hơn của vải, hoặc trong việc dựng lên bộ quần áo. Có thể bảo vệ trong các điều kiện như vậy bằng các sản phẩm may mặc theo tiêu chuẩn Loại 1 đến 3 hoặc có thể bằng vật liệu có tính chất bảo vệ cao hơn.Phải mang giày dép phù hợp với mục đích sử dụng, đặc biệt là nơi yêu cầu mang ủng (hoặc vớ). Ủng liền bộ quần áo phải ở bên trong giày dép thích hợp và phần hở ở trên cùng của giày phải được buộc chặt vào ống chân của bộ quần áo.
Loại bỏ trang phục:
Cẩn thận trọng với việc loại bỏ quần áo có thể đã bị nhiễm hóa chất. Nên yêu cầu một người phụ tá đeo găng tay cởi quần áo ra khỏi người mặc, chú ý không để chất gây ô nhiễm tiếp xúc với người phụ tá này hoặc người mặc.
Phạm vi sử dụng:
Những bộ quần áo này được thiết kế để bảo vệ chống các chất độc hại và ô nhiễm cho cả sản phẩm và nhân viên. Chúng thường được sử dụng, tùy theo mức độ nghiêm trọng của độc tính và các điều kiện, để bảo vệ chống lại các hạt trong không khí và hạn chế bắn tóe và phun.Quần áo bảo hộ hóa học này bảo đảm các yêu cầu về hiệu suất theo các tiêu chuẩn được liệt kê ở trên khi cần chống lại sự xâm nhập của các hạt rắn trong không khí bao gồm vật liệu phóng xạ. Ngoài ra, nó được thiết kế để sử dụng trong các trường hợp có khả năng tiếp xúc với các sol khí dạng phun nhẹ hoặc bắn ra, trong đó không cần phải có rào cản thẩm thấu hoàn toàn.
Cảnh báo tĩnh điện:
Người mặc quần áo phân tán tĩnh điện phải được nối đất đúng cách. Điện trở giữa người và đất phải <10^8 ohm, ví dụ: bằng cách mang giày dép đầy đủ. Khi mặc bộ quần áo liền ủng, nên cân nhắc sử dụng cáp nối đất. Quần áo phân tán tĩnh điện không được hở hoặc không được cởi bỏ quần áo phân tán tĩnh điện trong khi có không khí dễ cháy hoặc nổ hoặc trong khi xử lý các chất dễ cháy hoặc nổ. Quần áo chống tĩnh điện được chỉ định mặc trong các Khu vực 1, 2, 20, 21 & 22. (xem bảng tiếng Anh EN 60079-10-1[7] và EN 60079-10-2[8]) trong đó năng lượng đốt cháy tối thiểu của môi trường dễ nổ không thấp hơn 0.016mJ.Không sử dụng quần áo phân tán tĩnh điện trong môi trường làm giàu oxy mà không có sự chấp thuận trước của kỹ sư an toàn chịu trách nhiệm. Hiệu suất phân tán tĩnh điện của quần áo bảo vệ tĩnh điện có thể giảm do hao mòn, việc giặt giũ và nhiễm hóa chất. (xem bảng tiếng Anh EN 60079-10-1[7])Quần áo bảo hộ phân tán tĩnh điện che phủ vĩnh viễn tất cả các vật liệu không tuân thủ trong quá trình sử dụng thông thường (bao gồm cả uốn cong và chuyển động).
Bảo quản và thải bỏ:
Cần bảo quản quần áo theo thông lệ thông thường, tốt nhất là trong bóng tối không có ánh sáng cực tím và thải bỏ theo cách không gây hại cho môi trường. Các polyme trơ được sử dụng cho phép đảm bảo vòng đời sản phẩm dài nhưng nên thay thế chúng sau 5 năm vì các đặc tính chống tĩnh điện có thể giảm theo tuổi thọ.Các hạn chế đối với việc thải bỏ chỉ phụ thuộc vào tình trạng nhiễm hóa chất trong quá trình sử dụng. Nếu có thắc mắc, xin liên hệ với nhà cung cấp. Nhà sản xuất không chịu trách nhiệm về việc sử dụng hoặc thải bỏ không đúng cách quần áo do họ sản xuất.

BIỂU ĐỒ HIỆU SUẤT CỦA ULTITEC 3000T

TÍNH CHẤT VẬT LÝ CỦA VẢI DỰA THEO PHÂN LOẠI TRONG EN 14325:2018		PHƯƠNG PHÁP THỬ	KẾT QUẢ	CẤP
Chịu mài mòn		EN ISO 12947	>100 chu kỳ*	Cấp 2*
Chịu Flex Cracking		EN ISO 7854-B	>50,000 chu kỳ*	Cấp 6
Chịu rách hình thang	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Cấp 2
Cường độ chịu kéo	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Cấp 1
Sức kéo thủng		EN 863	>10N	Cấp 2
Độ bền đường may		EN ISO 13935-2	>75N	Cấp 3
Chống tĩnh điện		EN 1149-5	Đạt	
Giá trị pH		EN ISO 3071	Đạt	
Kháng tia lửa		EN 13274-4	Đạt	
Lưu ý * biểu thị điểm cuối trực quan				

CHỐNG KỴ NƯỚC VÀ THẤM NƯỚC DỰA THEO PHÂN LOẠI TRONG EN 14325:2018	PHƯƠNG PHÁP THỬ	THẤM NƯỚC	KỴ NƯỚC
Axit sunfuric 30%	EN ISO 6530	Cấp 3	Cấp 3
Natri hydroxit 10%	EN ISO 6530	Cấp 3	Cấp 3
o-Xylene	EN ISO 6530	Cấp 3	Cấp 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	Cấp 3	Cấp 3

XÁC ĐỊNH KHẢ NĂNG CHỐNG THẤM DỰA THEO PHÂN LOẠI TRONG EN 14325:2018	PHƯƠNG PHÁP THỬ	VẢI	BĂNG DÍNH
Axit sunfuric 30%	EN ISO 6529	Cấp 1	Cấp 2
Lưu ý: Vui lòng liên hệ với nhà phân phối tại địa phương để biết danh sách đầy đủ các hóa chất được thử nghiệm và kết quả			

HIỆU SUẤT CỦA VẢI TRƯỚC TÁC NHÂN LÂY NHIỄM THEO EN 14126:2003				
ISO 16603:2004 Cấp 6	ISO 16604:2004 Cấp 6	ISO/DIS 22611:2003 Cấp 3	ISO 22612:2005 Cấp 3	ISO 22610:2006 Cấp 6

KẾT QUẢ THỬ NGHIỆM CẢ BỘ	
Loại 4 EN 14605:2005 Thử nghiệm xịt Phương pháp thử: EN ISO 17491-4:2008 Phương pháp:B	Đạt
Loại 5 EN ISO 13982-1:2004 Kiểm tra rò rỉ vào trong Phương pháp thử: EN ISO 13982-2:2004 đạt = $L_{jmn.82/90}$≦30% và $L_{S.8/10}$≦15%	Đạt
Quần áo bảo hộ chống chất phóng xạ Phương pháp thử: EN 1073-2:2002 không bao gồm khả năng chống chặn (không được thử nghiệm)	Cấp 1
Loại 6 EN 13034:2005 Thử nghiệm phun ở mức thấp Phương pháp thử: EN ISO 17491-4:2008 Phương pháp:A	Đạt

TUYÊN BỐ TUÂN THỦ ĐƯỢC NHÀ SẢN XUẤT CHUẨN BỊ VÀ KÝ TÊN CÓ TRÊN TRANG WEB CỦA NHÀ SẢN XUẤT NHƯ NÊU RA DƯỚI ĐÂY

Vietnamese

ULTITEC 3000T

Estilo No. DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Vestuário de proteção química da categoria III

Esta peça de vestuário cumpre com os requisitos do Regulamento UE 2016/425 e de qualquer norma de referênci

Marcação:
Cada macacão é identificado por uma etiqueta interna e externa. A etiqueta interna indica a classe de proteção conforme definido no Regulamento. Também fornece outra informação relevante de uso ao usuário final. A etiqueta exterior permite a identificação do tipo de peça.

1 Tipo de tecido ou Marca
2 Número de estilo ou Identificação do modelo
3 Os produtos cumprem os requisitos para EPI de Categoria III de acordo com o Regulamento Europeu 2016/425. O exame UE de tipo (Módulo B) foi emitido por SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598). A conformidade com a garantia de qualidade dos certificados do processo de produção (Módulo D) estava sob a supervisão de SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)
4 Tipo 4 Roupa justa contra respingo EN 14605:2005 + A1:2009
Tipo 5 Roupa justa contra partículas EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Tipo 6 Roupa justa de respingo limitado EN 13034:2005 + A1:2009
5 Este pictograma mostra que o traje é para proteção contra produtos químicos
6a Os macacões ULTITEC 3000T são tratados antiestaticamente e cumprem a proteção eletrostática exigida pela norma EN1149-5:2018 apenas na parte interior, e devem ser usados com acessórios e práticas de trabalho compatíveis para serem eficazes (ver nota abaixo).
6b Este pictograma e triângulo indicam proteção radioativa para EN 1073-2:2002, excluindo a resistência à perfuração da cláusula 4.2 e a resistência ao bloqueio.
6c A letra '-B' após o número do Tipo indica que o tecido usado neste macacão foi testado e aprovado para a proteção EN14126:2003 contra agentes infeciosos.
7 Informações de tamanho: Escolha o tamanho apropriado.

tamanho	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
peito (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
altura (cm)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 O utilizador deve ler estas instruções.
9 Imagens de cuidado: Não lavar, Não lavar na máquina, Não engomar, Não lavar a seco.
10 Não reutilize
11 Data de fabrico
12 Aviso adicional: Material inflamável. Manter afastado do fogo

Conformidade e responsabilidade:
Para atender plenamente às exigências de desempenho para os tipos 5/6 e EN 1073-2, todas as aberturas, como pulsos, tornozelos, pescoço e incluindo a aba do zíper, devem ser seguramente coladas.O usuário será o único avaliador da adequação para o tipo de proteção exigido e as combinações corretas de acessórios e equipamentos auxiliares do macacão. Para obter proteção total, todas as aberturas devem estar bem fechadas, mas o usuário deve determinar e permitir o efeito do calor quando estiver em uso. O estresse térmico e o desconforto podem ser reduzidos ou eliminados pelo uso de roupa íntima apropriada ou equipamento de ventilação.O fabricante não é responsável por acidentes causados por comportamento inadequado ou seleção inadequada de roupas de proteção ou equipamentos auxiliares.
Limitações:
A exposição a determinados produtos químicos ou a altas concentrações ou pressões pode exigir propriedades de barreira mais altas do tecido ou na construção do traje. Tais condições podem ser protegidas por peças de vestuário feitas nos padrões dos Tipos 1 a 3 ou possivelmente por um material mais protetor.Um calçado apropriado para o uso pretendido deve ser usado, especialmente onde as botas (ou meias) estão presas. A bota integral deve ser usada dentro do calçado apropriado, e a abertura no topo do calçado colada na perna do macacão.
Remoção de vestuário:
Devem ser tomados cuidados com a remoção de qualquer peça de roupa que possa ter sido contaminada. Há que recorrer ao uso de um assistente usando luvas para retirar a roupa do usuário, tomando cuidado para que nenhum contaminante entre em contato com o assistente ou com o usuário.
Áreas de utilização:
Estes macacões são projetados para proteção contra substâncias perigosas e contaminação de produtos e de pessoal. Eles são normalmente usados, dependendo da gravidade da toxicidade e das condições, para proteção contra partículas suspensas no ar e respingos e borrifos limitados.Os requisitos de desempenho aplicáveis a esta roupa de proteção química são cobertos pelos padrões listados acima onde há uma necessidade de resistência à penetração de partículas sólidas suspensas no ar, incluindo materiais radioativos. Além disso, destina-se a ser utilizado em casos de potencial exposição a aerossóis líquidos de aspersão ligeira ou respingos de volume de baixa pressão, em que não é necessária uma barreira de permeação completa.
Aviso eletrostáticos:
A pessoa que veste o vestuário de proteção eletrostática dissipativo deve estar devidamente ligada à terra. A resistência entre a pessoa e a terra deve ser inferior a <10^8 ohms; por exemplo, através do uso de calçado adequado; O vestuário de proteção eletrostático dissipador não deve ser aberto ou removido enquanto na presença de atmosfera inflamável ou explosiva ou ao manusear substâncias inflamáveis ou explosivas. Vestimentas dissipativas eletrostáticas devem ser usadas nas Zonas 1, 2, 20, 21 e 22. (veja EN 60079-10-1[7] e EN 60079-10-2[8]) em que a energia de ignição mínima de qualquer explosivo da atmosfera não seja inferior a 0,016mJ.As roupas eletrostáticas dissipativas não devem ser usadas em atmosferas enriquecidas com oxigênio sem a aprovação prévia do engenheiro de segurança responsável. A eficácia da dissipação eletroestática do vestuário dissipador de proteção eletrostática pode ser afetada pelo desgaste, lavagem e possível contaminação. (veja EN 60079-10-1[7]).As roupas eletrostáticas dissipativas devem cobrir de forma permanente todos os materiais não conformes durante o uso normal (incluindo flexão e movimentos).
Conservação e eliminação:
As roupas devem ser armazenadas de acordo com a prática normal de armazenamento, de preferência no escuro, sem exposição à luz UV e descartadas sem causar danos ao meio ambiente. Os polímeros inertes utilizados garantem uma vida útil longa, mas recomenda-se que os itens sejam substituídos após 5 anos, pois as propriedades antiestáticas podem reduzir com a idade.As restrições ao descarte dependem somente da contaminação durante o uso. Em caso de dúvida, entre em contato com seu fornecedor. O fabricante não se responsabiliza por qualquer uso ou descarte impróprio de peças de vestuário por eles produzidos.

GRÁFICO DE RENDIMENTO DO ULTITEC 3000T

PROPRIEDADES FÍSICAS DO TECIDO COM BASE NA CLASSIFICAÇÃO NA EN 14325:2018		MÉTODO DO TESTE	RESULTADO	CLASSE
Resistência à abrasão		EN ISO 12947	>100 ciclos*	Classe 2*
Resistência à fissuração Flex		EN ISO 7854-B	>50,000 ciclos*	Classe 6
Resistência ao Rasgo Trapezoidal.	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Classe 2
Resistência à tração	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Classe 1
Resistência à perfuração		EN 863	>10N	Classe 2
Força de costura		EN ISO 13935-2	>75N	Classe 3
Antiestaticidade		EN 1149-5	Aprovado	
Valor do pH		EN ISO 3071	Aprovado	
Resistência à ignição		EN 13274-4	Aprovado	
Nota * denota ponto final visual				

RESISTÊNCIA À REPELÊNCIA E À PENETRAÇÃO COM BASE NA CLASSIFICAÇÃO NA EN 14325:2018	MÉTODO DO TESTE	PENETRAÇÃO	REPELÊNCIA
Ácido sulfúrico 30%	EN ISO 6530	Classe 3	Classe 3
Hidróxido de sódio 10%	EN ISO 6530	Classe 3	Classe 3
o-xileno	EN ISO 6530	Classe 3	Classe 3
Butanol-1	EN ISO 6530	Classe 3	Classe 3

DETERMINAÇÃO DA RESISTÊNCIA À PERMEABILIDADE COM BASE NA CLASSIFICAÇÃO NA EN 14325:2018	MÉTODO DO TESTE	TECIDO	FITA
Ácido sulfúrico 30%	EN ISO 6529	Classe 1	Classe 2
Nota: Entre em contato com o distribuidor local para obter uma lista completa dos produtos químicos testados e os resultados			

DESEMPENHO DO TECIDO CONTRA AGENTE INFECIOSO EM EN 14126:2003				
ISO 16603:2004 Classe 6	ISO 16604:2004 Classe 6	ISO/DIS 22611:2003 Classe 3	ISO 22612:2005 Classe 3	ISO 22610:2006 Classe 6

TESTE DE DESEMPENHO TRAJE COMPLETO	
Tipo 4 EN 14605:2005 Teste de pulverização Método de teste: EN ISO 17491-4:2008 Método:B	Aprovado
Tipo 5 EN ISO 13982-1:2004 Teste de Vazamento Interno Método de teste: EN ISO 13982-2:2004 pass = $L_{jmn.82/90}$≦30% e $L_{S.8/10}$≦15%	Aprovado
Vestuário de proteção contra materiais radioativos Método de teste: EN 1073-2:2002 excluindo resistência a bloqueio (não testado)	Classe 1
Tipo 6 EN 13034:2005 Teste de pulverização de baixo nível Método de teste: EN ISO 17491-4:2008 Método:A	Aprovado

UMA DECLARAÇÃO DE CONFORMIDADE PREPARADA E ASSINADA PELO FABRICANTE PODE SER ACESSADA NO SÍTIO DO FABRICANTE, COMO INDICADO ABAIXO

Portuguese

Malay

ULTITEC 3000T

Style No. DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Pakaian pelindung kimia kategori III

Pakaian ini mematuhi keperluan Peraturan EU 2016/425 dan mana-mana piawaian rujukan.

Tanda:
Setiap baju senyawa dikenal pasti dengan label luaran dan label dalaman. Label dalaman menunjukkan kelas perlindungan yang ditakrifkan berdasarkan Peraturan. Ia juga memberikan butiran lain yang berkaitan dengan penggunaannya kepada pengguna akhir. Label luaran memaparkan jenis pakaian.

1 Jenis fabrik atau jenama
2 Pengenalpastian nombor gaya atau model
3 Produk memenuhi persyaratan untuk Kategori III PPE menurut Peraturan Eropa (EU) 2016/425. Tes Tipe EU (Modul B) dikeluarkan oleh SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598). Kesesuaian dengan jaminan kualitas sertifikat proses produksi (Modul D) berada di bawah pengawasan oleh SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598).
4 Jenis 4 Pakaian Ketat Percikan EN 14605:2005 + A1:2009
Jenis 5 Pakaian Ketat Zarah EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Jenis 6 Pakaian Ketat Percikan Terhad EN 13034:2005 + A1:2009
5 Piktogram ini menunjukkan bahawa baju ini bertujuan melindungi pengguna daripada bahan-bahan kimia.
6a Baju senyawa ULTITEC 3000T diproses secara antistatik dan mematuhi keperluan perlindungan elektrostatik yang termaktub dalam EN1149-5:2018 bagi permukaan dalaman sahaja, dan mesti digunakan bersama aksesori dan amalan kerja yang serasi agar ia berfungsi secara berkesan. (lihat nota di bawah)
6b Piktogram dan segitiga ini memaparkan perlindungan radioaktif yang termaktub dalam EN 1073-2:2002, tidak termasuk rintangan tusukan dalam klausa 4.2 dan rintangan terhadap sekatan.
6c Huruf "-B" selepas nombor jenis menunjukkan bahawan fabrik yang digunakan pada baju senyawa ini telah diuji dan lulus piawaian EN14126:2003 - perlindungan terhadap agen infektif.
7 Butiran Saiz: Sila pilih saiz yang sesuai.

saiz	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
dada (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
tinggi (cms)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 Pemakai dikehendaki membaca arahan-arahan ini.
9 Piktogram jagaan: Jangan kering dengan mesin, Jangan basuh, Jangan seterika, Jangan cuci kering.
10 Jangan guna semula.
11 Tarikh pengilangan.
12 Amaran Tambahan: Bahan mudah terbakar. Jauhinya dari api.

Pematuhan dan tanggungjawab:
Demi memenuhi semua tuntutan prestasi bagi baju-baju Jenis 5/6 dan EN 1073-2, semua lubang seperti pergelangan tangan, pergelangan kaki dan leher, serta flap zip harus direkatkan dengan selamat.Pengguna harus menilai secara bersendirian kesesuaian jenis perlindungan yang diperlukan serta gabungan aksesori dan peralatan sampingan baju senyawa yang betul. Untuk memastikan perlindungan sepenuhnya, semua bukaan harus ditutup dengan selamat, tetapi pengguna harus menentukan dan membenarkan berlakunya kesan haba semasa menggunakannya. Tegasan haba dan ketidakselesaan boleh dikurangkan atau dihapuskan dengan menggunakan pakaian dalaman atau peralatan pengudaraan yang sesuai.Pengilang tidak bertanggungjawab terhadap kemalangan yang disebabkan oleh kelakuan yang tidak wajar atau pemilihan pakaian pelindung atau peralatan sampingan yang tidak sesuai.
Batasan:
Pendedahan terhadap sesetengah jenis bahan kimia atau tahap kepekatan atau tekanan tinggi mungkin memerlukan ciri-ciri halangan fabrik yang lebih tinggi atau semasa membuat baju ini. Keadaan-keadaan ini boleh dilindungi oleh baju-baju yang dibuat mengikut piawaian Jenis 1 hingga 3 atau dilindungi oleh bahan dengan tahap perlindungan yang lebih tinggi.Kasut yang perlu digunakan untuk tujuan yang sesuai mesti dipakai, terutamanya but (atau sarung kaki) yang dibekalkan bersama. But sepadu perlu dipakai di dalam kasut yang sesuai, dan bukaan di atas kasut perlu dilekatkan dengan pita perekat dengan bahagian kaki baju senyawa.
Penanggalan baju:
Berhati-hati semasa menanggalkan mana-mana baju yang mungkin tercemar. Seorang pembantu yang memakai sarung tangan harus dipanggil untuk mengupas pakaian daripada pemakai, dan memastikan bahawa tiada bahan pencemar yang bersentuhan dengan pembantu atau pemakai.
Bidang penggunaan:
Baju-baju senyawa ini direka bentuk untuk tujuan perlindungan terhadap bahan-bahan berbahaya dan pencemaran produk dan kakitangan. Mereka lazimnya digunakan mengikut keseriusan ketoksikan dan keadaan untuk tujuan perlindungan terhadap zarah-zarah bawaan udara serta percikan dan semburan terhad.Keperluan prestasi yang digunakan pada pakaian pelindung kimia dirangkumi oleh piawaian-piawaian yang disenaraikan di atas, dan rintangan terhadap penembusan zarah-zarah pepejal bawaan udara, termasuk bahan-bahan radioaktif. Di samping itu, ia bertujuan digunakan dalam kes-kes dengan potensi pendedahan terhadap bahan-bahan aerosol cecair semburan ringan atau percikan tekanan rendah, di mana halangan penelapan penuh tidak diperlukan.
Amaran elektrostatik:
Seseorang yang memakai pakaian lesapan elektrostatik harus dibumikan dengan betul. Rintangan antara orang tersebut dan bumi haruslah <10^8 ohms. Pakaian lesapan elektrostatik tidak harus dibuka atau ditanggalkan semasa seseorang itu berada dalam persekitaran mudah terbakar atau meletup atau semasa mengendalikan bahan-bahan mudah terbakar atau meletup. Pakaian lesapan elektrostatik haruslah dipakai di Zon 1, 2, 20, 21 dan 22 (sila rujuk EN 60079-10-1[7] dan EN 60079-10-2[8], di mana tenaga pencucuan minimum bagi mana-mana letupan atmosfera tidak kurang daripada 0.016mJ.Pakaian lesapan elektrostatik tidak harus digunakan dalam persekitaran yang kaya dengan oksigen tanpa kelulusan daripada jurutera keselamatan yang bertanggungjawab. Prestasi lesapan elektrostatik bagi pakaian pelindung lesapan elektrostatik boleh dijejaskan oleh haus dan lusuh, pencucian dan pencemaran yang mungkin berlaku. (Sila rujuk EN 60079-10-1[7]).Pakaian pelindung lesapan elektrostatik harus sentiasa menutup semua bahan-bahan yang tidak mematuhi piawaian semasa menggunakannya (termasuk membongkokkan dan menggerakkan badan).
Penyimpanan dan Pelupusan:
Pakaian ini harus disimpan mengikut amalan penyimpanan biasa, seelok-eloknya di kawasan gelap tanpa pendedahan cahaya ultraungu, dan dilupuskan tanpa menyebabkan kesan negatif terhadap alam sekitar. Polimer lengai yang digunakan memastikan jangka hayatnya yang panjang, tetapi adalah disyorkan bahawa item-item harus digantikan 5 tahun kemudian kerana ciri-ciri antistatik mereka mungkin merosot mengikut jangka hayat.Sekatan yang dikenakan ke atas pelupusannya bergantung kepada pencemaran semasa ia digunakan. Sekiranya terdapat sebarang keraguan, sila hubungi pembekal anda. Pengilang tidak boleh menanggung tanggungjawab terhadap sebarang penggunaan atau pelupusan baju yang tidak betul.

CARTA PRESTASI ULTITEC 3000T

CIRI-CIRI FIZIKAL FABRIK BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018		KAEDAH UJIAN	KEPUTUSAN	KELAS
Rintangan Lelasan		EN ISO 12947	>100 kitaran*	Kelas 2*
Rintangan Peretakan Lentur		EN ISO 7854-B	>50,000 kitaran*	Kelas 6
Rintangan Koyak Trapezoid	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Kelas 2
Kekuatan Tegangan	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Kelas 1
Rintangan Tusukan		EN 863	>10N	Kelas 2
Rintangan Kelim		EN ISO 13935-2	>75N	Kelas 3
Tahap Antistatik		EN 1149-5	Lulus	
Nilai pH		EN ISO 3071	Lulus	
Pewarna AZO		EN 13274-4	Lulus	
Nota * mewakili titik akhir visual				

RINTANGAN TERHADAP KALIS CECAIR DAN PENEMBUSAN BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018	KAEDAH UJIAN	PENEMBUSAN	KALIS CECAIR
Asid Sulfurik 30%	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
Natrium Hidroksida 10%	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
o-Xilena	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	Kelas 3	Kelas 3

PENENTUAN RINTANGAN TERHADAP PENELAPAN BERDASARKAN KLASIFIKASI DALAM EN 14325:2018	KAEDAH UJIAN	FABRIK	LEKAT
Asid Sulfurik 30%	EN ISO 6529	Kelas 1	Kelas 2
Note: Untuk senarai penuh bahan kimia dan keputusan, sila hubungi pengedar tempatan.			

RINTANGAN FABRIK TERHADAP PENEMBUSAN RACUN PEROSAK DALAM EN 1412:2003				
ISO 16603:2004 Kelas 6	ISO 16604:2004 Kelas 6	ISO/DIS 22611:2003 Kelas 3	ISO 22612:2005 Kelas 3	ISO 22610:2006 Kelas 6

PRESTASI UJIAN SELURUH PAKAIAN	
Jenis 4 EN 14605:2009 Ujian Semburan Kaedah ujian: EN ISO 17491-4:2008 Kaedah:B	Lulus
Jenis 5 EN ISO 13982-1:2004 Ujian Kebocoran Masuk Kaedah ujian: EN ISO 13982-2:2004 lulus = $L_{jmn.82/90}$≦30% and $L_{S.8/10}$≦15%	Lulus
Pakaian perlindungan terhadap bahan-bahan radioaktif Kaedah ujian: EN 1073-2:2002 tidak termasuk rintangan terhadap sekatan (tidak diuji)	Kelas 1
enis 6 EN 13034:2005 Ujian Semburan Tahap Rendah Kaedah ujian: EN ISO 17491-4:2008 Kaedah:A	Lulus

SURAT AKUAN KEAKURAN YANG DISEDIAKAN DAN DITANDATANGANI OLEH PIHAK PENGILANG BOLEH DIAKSES DI LAMAN WEB PENGILANG-PENGILANG SEPERTI YANG TERTERA DI BAWAH

Polish

ULTITEC 3000T

Nr odmiany: DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   Chemiczna odzież ochronna kategorii III

Ta odzież jest zgodna z wymogami Rozporządzenia Parlamentu Europejskiego i Rady (UE) 2016/425 i wszelkich innych norm z nim związanych.

Oznaczenia:
Każdy kombinezon jest oznaczony zarówno etykietą wewnętrzną, jak i zewnętrzną. Wewnętrzna etykieta zawiera informacje na temat klasy ochrony zgodnie z definicją zawartą w Rozporządzeniu. Dostarcza użytkownikom końcowym także innych istotnych informacji dotyczących użytkowania produktu. Zewnętrzna etykieta zawiera informacje identyfikujące rodzaj odzieży.

1 Rodzaj tkaniny lub marka
2 Oznaczenie odmiany lub identyfikacja modelu
3 Produkty spełniają wymagania dla środków ochrony indywidualnej kategorii III zgodnie z rozporządzeniem europejskim (UE) 2016/425. Badanie typu UE (moduł B) zostało przeprowadzone przez firmę SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finlandia, (N.B. 0598). Zgodność z kontrolą jakości certyfikatów procesów produkcyjnych (Moduł D) była nadzorowana przez SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)
4 Typ 4 Odzież chroniąca przed rozpryskami EN 14605:2005 + A1:2009
Typ 5 Odzież chroniąca przed cząsteczkami EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
Typ 6 Odzież zapewniająca ograniczoną skuteczność ochrony przed ciekłymi chemikaliami EN 13034:2005 + A1:2009
5 Ta ikona wskazuje, że kombinezon służy do ochrony przed chemikaliami.
6a Kombinezony ULTITEC 3000T dysponują zabezpieczeniami antystatycznymi, spełniają wymogi związane z ochroną przed elektrycznością zgodnie z PN-EN 1149-5:2018 jedynie od strony wewnętrznej, muszą więc być używane z kompatybilnymi akcesoriami i metodami pracy tak, aby były w pełni skuteczne (zapoznaj się także z uwagą zamieszczoną poniżej).
6b Ta ikona oraz trójkąt wskazują na ochronę przed radioaktywnością zgodnie z PN-EN 1073-2:2005 z wyłączeniem punktu 4.2 dotyczącego odporności przebicie oraz blokowanie.
6c Litera "B" po numerze typu wskazuje, że tkanina użyta w tym kombinezonie została przetestowana i przeszła testy wymagane przez normę EN14126: 2003 dla środków ochrony przed czynnikami infekującymi.
7 Informacje na temat rozmiaru: Proszę wybrać odpowiedni rozmiar.

Rozmiar:	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
Klatka piersiowa(cm)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
Wzrost(cm)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 Użytkownik powinien zapoznać się z instrukcjami.
9 Symbole dot. czyszczenia: Nie prać, nie suszyć maszynowo, nie prasować, nie czyścić chemicznie.
10 Nie używać ponownie.
11 Data produkcji
12 Ostrzeżenie dodatkowe: Materiał łatwopalny. Trzymać z dala od ognia

Zgodność i odpowiedzialność:
Aby w pełni spełnić wymagania dotyczące parametrów odzieży typów 5/6 oraz zgodnych z normą PN-EN 1073-2:2005, wszystkie otwory, takie jak nadgarstki, kostki, szyja i klapa zamka powinny być zaklejone bezpieczną taśmą.Użytkownik jest jedyną osobą, która powinna oceniać przydatność dla wymaganego typu ochrony i właściwych kombinacji akcesoriów i wyposażenia pomocniczego dla kombinezonów. Aby zapewnić pełną ochronę, wszystkie szczeliny odzieży powinny być bezpiecznie zamknięte. Jednak to użytkownik musi określić i zezwolić na działanie ciepła podczas użytkowania odzieży. Stres cieplny i dyskomfort można zmniejszyć lub wyeliminować poprzez zastosowanie odpowiedniej bielizny lub urządzeń wentylacyjnych.Producent nie ponosi odpowiedzialności za wszelkiego rodzaju wypadki spowodowane niewłaściwym postępowaniem, nieprawidłowym doborem odzieży ochronnej lub wyposażenia dodatkowego.
Ograniczenia:
Narażenie na działanie określonych chemikaliów, czy też wysokie stężenia lub ciśnienia mogą wymagać wyższych właściwości ochronnych samej tkaniny lub konstrukcji kombinezonu. W przypadku takich warunków odpowiednią ochronę zapewnia odzież wyprodukowana zgodnie ze standardami Typów od 1 do 3 lub ewentualnie z materiału o wyższym stopniu ochrony.Należy nosić obuwie odpowiednie do zamierzonego zastosowania, zwłaszcza gdy założone zostaną buty (lub skarpety). Zintegrowany but powinien być noszony wewnątrz odpowiedniego obuwia, a otwór na górze buta zabezpieczony taśmą i przyklejony do nogi kombinezonu.
Zdejmowanie odzieży:
Przy zdejmowaniu odzieży, która mogła zostać zanieczyszczona, należy zawsze zachować ostrożność. Należy skorzystać z pomocy asystenta w rękawicach ochronnych, który pomoże zdjąć odzież z użytkownika, uważając przy tym, aby żadne zanieczyszczenia nie miały kontaktu ani z asystentem, ani też z użytkownikiem.
Obszary zastosowania:
Kombinezony te są przeznaczone do ochrony przed substancjami niebezpiecznymi oraz przed skażeniem zarówno produktu, jak i personelu. Zazwyczaj są one stosowane, w zależności od stopnia toksyczności i pozostałych warunków, w celu ochrony przed cząstkami unoszącymi się w powietrzu oraz w ograniczonym stopniu przed rozpryskiwaniem i rozpylaniem.Wymogi dotyczące zapewnianej skuteczności mające zastosowanie do odzieży chroniącej przed chemikaliami są określone przez wyżej wymienione normy, definiujące potrzebę odporności na przenikanie przez cząsteczki stałe unoszące się w powietrzu, w tym materiały radioaktywne. Ponadto jest ona przeznaczona do stosowania w przypadkach potencjalnego narażenia na lotne, rozpylone aerozole ciekłe lub rozpryski objętościowe, dla których nie jest wymagana pełna bariera ochronna przed przenikaniem.
Ostrzeżenia elektrostatyczne:
Osoba nosząca odzież elektrostatyczną powinna być odpowiednio uziemiona. Opór między człowiekiem a ziemią powinien wynosić < 10^8 omów, np. poprzez noszenie odpowiedniego obuwia. .Odzieży rozpraszającej elektrostatyczność nie należy otwierać, ani zdejmować w obecności atmosfery łatwopalnej lub wybuchowej, a także podczas pracy z materiałami łatwopalnymi lub wybuchowymi. Odzież rozpraszająca ładunki elektrostatyczne jest przeznaczona do noszenia w strefach 1, 2, 20, 21 i 22 (zgodnie z normą PL-EN 60079-10-1 [7] i PL-EN 60079-10-2 [8]), w których minimalna energia zapłonu atmosfery o właściwościach eksplozywnych jest nie niższa od 0,016 mJ.Odzieży rozpraszającej elektrostatyczność nie należy używać w atmosferze wzbogaconej w tlen bez wcześniejszej zgody właściwego inspektora ds. BHP. Na skuteczność rozpraszania ładunków elektrostatycznych przez odzież ochronną może wpływać stopień jej zużycia, a także pranie i ewentualne zanieczyszczenie. (zapoznaj się z normą PL-EN 60079-10-1 [7]).Odzież odprowadzająca ładunki elektrostatyczna powinna trwale pokrywać wszystkie części ciała podczas normalnego użytkowania (w tym zginania i poruszania się).
Przechowywanie i utylizacja:
Odzież powinna być przechowywana zgodnie z normalną praktyką przechowywania, najlepiej w ciemności bez narażenia jej na działanie promieniowania UV. Utylizacji należy dokonać bez szkody dla środowiska. Zastosowane polimery obojętne zapewniają długi okres trwałości, ale zaleca się mimo tego wymianę produktu po upływie 5 lat z uwagi na to, że jego właściwości antystatyczne mogą zmniejszać się wraz z upływem czasu.Ograniczenia dotyczące utylizacji zależą wyłącznie od stopnia zanieczyszczenia podczas użytkowania. W razie wątpliwości prosimy o kontakt z dostawcą. Producent nie ponosi odpowiedzialności za niewłaściwe użycie lub utylizację wyprodukowanej przez siebie odzieży.

ZESTAWIENIE WŁAŚCIWOŚCI DLA ULTITEC 3000T

WŁAŚCIWOŚCI FIZYCZNE TKANINY W OPARCIU O KLASYFIKACJĘ W EN 14325:2018		METODA TESTOWANIA	WYNIK	KLASA
Odporność na ścieranie		EN ISO 12947	>100 cykli*	Klasa 2*
Odporność na pękanie pod wpływem zginania		EN ISO 7854-B	>50,000 cykli*	Klasa 6
Odporność na ścieranie trapezoidalne.	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	Klasa 2
Wytrzymałość na rozciąganie	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	Klasa 1
Odporność na przebicie		EN 863	>10N	Klasa 2
Wytrzymałość szwów		EN ISO 13935-2	>75N	Klasa 3
Antystatyczność		EN 1149-5	Zaliczony	
Wartość pH		EN ISO 3071	Zaliczony	
Odporność na zapłon		EN 13274-4	Zaliczony	
Uwaga: * oznacza ocenę wzrokową				

ODPORNOŚĆ NA PRZEMAKANIE I PRZENIKANIE W OPARCIU O KLASYFIKACJĘ W EN 14325:2018	METODA TESTOWANIA	PRZENIKANIE	PRZEMAKANIE
Kwas siarkowy 30%	EN ISO 6530	Klasa 3	Klasa 3
Wodorotlenek sodu 10%	EN ISO 6530	Klasa 3	Klasa 3
o-Ksylen	EN ISO 6530	Klasa 3	Klasa 3
Butanol	EN ISO 6530	Klasa 3	Klasa 3

OKREŚLANIE STOPNIA ODPORNOŚCI NA PRZEMAKANIE W OPARCIU O KLASYFIKACJĘ W EN 14325:2018	METODA TESTOWANIA	TKANINA	TAŚMA
Kwas siarkowy 30%	EN ISO 6529	Klasa 1	Klasa 2
Uwaga: Proszę skontaktować się z lokalnym dystrybutorem w celu uzyskania pełnej listy testowanych chemikaliów i wyników.			

WYDAJNOŚĆ TKANINY PRZECIWKO CZYNNIKOWI INFEKUJĄCEMU ZGODNIE Z EN 14126:2003				
ISO 16603:2004 Klasa 6	ISO 16604:2004 Klasa 6	ISO/DIS 22611:2003 Klasa 3	ISO 22612:2005 Klasa 3	ISO 22610:2006 Klasa 6

WYNIKI TESTÓW DLA PEŁNEGO ZESTAWU ODZIEŻY	
Typ 4 EN 14605:2005 Test spryskiwania Metoda testowania: EN ISO 17491-4:2008, Metoda: B	Zaliczony
Typ 5 , EN ISO 13982-1:2004 - Test przeciekania wewnętrznego Metoda testowania: EN ISO 13982-2:2004 zaliczony = $L_{jmn.82/90}$≦30% oraz $L_{S.8/10}$≦15%	Zaliczony
Odzież ochronna przeciwko materiałom radioaktywnym Metoda testowania: EN 1073-2:2002 z wyłączeniem odporności na blokowanie (nie testowano)	Klasa 1
Typ 6 EN 13034:2005 Test spryskiwania niskiego poziomu Metoda testowania: EN ISO 17491-4:2008, Metoda: A	Zaliczony

PRZYGOTOWANA I PODPISANA PRZEZ PRODUCENTA DEKLARACJA ZGODNOŚCI MOŻE BYĆ DOSTĘPNA W WITRYNIE INTERNETOWEJ PRODUCENTA JAK ZAPREZENTOWANO PONIŻEJ

Thai

ULTITEC 3000T

หมายเลขรุ่น DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   เสื้อผ้าป้องกันสารเคมีสำหรับสารเคมีประเภทที่ III

เสื้อผ้าชุดนี้ได้มาตรฐานตามข้อกำหนด EU 2016/425 และมาตรฐานอ้างอิงอื่นๆ

หมายเหตุ:
ชุดคลุมตัวแต่ละชุดจะมีฉลากบ่งชี้ทั้งภายในและภายนอก ฉลากภายในจะบ่งชี้ระดับป้องกันตามที่กำหนดไว้ในข้อกำหนด นอกจากนี้ยังให้ข้อมูลการใช้สำคัญอื่นๆให้กับผู้ใช้ ฉลากภายนอกจะบ่งชี้ชนิดของเนื้อผ้า

1 ประเภทผ้าหรือแบรนด์
2 หมายเลขรุ่นหรือคุณลักษณะของรุ่น
3 ผลิตภัณฑ์ที่ต่างๆผ่านมาตรฐานของสหภาพยุโรป (EU) 2016/42 5ในหมวดประเภทที่ 3 PPE ผ่านการตรวจสอบผลิตภัณฑ์ประเภท EU (โมดูล B)โดยมี SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598) เป็นผู้ตรวจสอบ ใบประกาศนียบัตรรับประกันคุณภาพขั้นตอนการผลิตสินค้า (โมดูล D) อยู่ภายใต้การดูแลของ SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598)
4 ประเภท 4 เนื้อผ้าแบบเนื้อแววาว EN 14605:2005 + A1:2009
ประเภท 5 เนื้อผ้าแบบเนื้อละเอียดระดับอนุภาค EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
ประเภท 6 เนื้อผ้าแบบเนื้อแววาวแบบจำกัด EN 13034:2005 + A1:2009
5 พิกโตแกรมนี้แสดงให้เห็นว่าเสื้อผ้าชุดนี้มีไว้สำหรับป้องกันสารเคมี
6a ชุดคลุมตัว ULTITEC 3000T สามารถต้านประจุไฟฟ้าสถิตได้และสอดคล้องมาตรฐานป้องกันประจุไฟฟ้าสถิตของ EN1149-5:2018 ในส่วนในหน้าภายในเท่านั้น และต้องใช้ร่วมกับอุปกรณ์เสริมอื่นๆและใช้อย่างชำนาญเพื่อประสิทธิภาพสูงสุด (กรุณาดูข้อความด้านล่าง)
6b พิกโตแกรมนี้และสัญลักษณ์สามเหลี่ยมหมายถึงการป้องกันกัมมันตภาพรังสีใน EN 1073-2:2002 เหตุยกเว้น 4.2 ต้านแรงทิ่มทะลุและต้านการอุดตัน
6c ตัวหนังสือ'-B' หลังตัวเลขประเภทหมายถึงเนื้อผ้าที่ใช้ทำชุดคลุมตัวได้ผ่านการทดสอบEN14126:2003 การป้องกันต้านสารติดเชื้อ
7 ข้อมูลขนาด:
กรุณาเลือกขนาดที่เหมาะสม

ขนาด	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
รอบอก (ซม)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
ความสูง (ซม)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 ผู้สวมใส่ควรจะอ่านคู่มือเหล่านี้อย่างละเอียด
9 พิกโตแกรมแสดงการรักษาชุด : กรุณาอย่าซัก อย่าอบแห้ง อย่ารีด อย่าซักแห้ง
10 กรุณาอย่าใช้ซ้ำ
11 วันที่ผลิต
12 คำเตือนเพิ่มเติม: วัสดุไวไฟ กรุณาเก็บให้ห่างจากไฟ

การทำตามข้อกำหนดและความรับผิดชอบ:
เพื่อประสิทธิภาพสูงสุดสำหรับชุดประเภท5/6 และชุดมาตรฐาน EN 1073-2 ส่วนที่เปิดเผย อย่างเช่น ข้อมือ ข้อเท้า คอ รวมถึงแผ่นซิปต้องปิดเทปอย่างแน่นหนาให้เรียบร้อย
ผู้ใช้ควรจะตัดสินประสิทธิภาพของชุดตามประเภทการป้องกันเท่านั้น รวมถึงการใช้อุปกรณ์และตัวช่วยเสริมที่เหมาะสมกับชุดอีกด้วย เพื่อการปกป้องที่สมบูรณ์ ช่องว่างทุกช่องจะต้องปิดสนิท แต่ผู้ใช้ก็ต้องคำนึงและยินยอมกับความร้อนที่เกิดขึ้นระหว่างใช้ ความร้อนและความไม่สบายตัวระหว่างใส่ชุดสามารถลดหรือกำจัดได้ด้วยการใส่ชุดภายใต้ชุดป้องกันที่เหมาะสมหรือใช้เครื่องมือระบายอากาศ
ผู้ผลิตไม่มีส่วนรับผิดชอบจากอุบัติเหตุที่เกิดขึ้นจากความประมาทของผู้สวมใส่ รวมถึงการเลือกเสื้อผ้าหรืออุปกรณ์เสริมป้องกันที่ไม่เหมาะสม
ข้อจำกัด:
การสัมผัสต่อสารเคมีบางตัวหรือในความเข้มข้นสูงหรือแรงดันสูง อาจจะต้องการเกราะป้องกันที่สูงกว่านี้ในเนื้อผ้าหรือในโครงสร้างของชุด ในเงื่อนไขข้างต้นสามารถใช้ผ้าที่ผลิตในมาตรฐานประเภทที่1 หรือ 3 หรือวัสดุที่ให้การป้องกันมากกว่ามาปกป้องตัวได้
จำเป็นต้องสวมใส่รองเท้าที่เหมาะสมกับงาน โดยเฉพาะส่วนที่รองเท้าบู๊ท (หรือถุงเท้า) ที่สัมผัสกับสารเคมี นอกจากนี้ยังจำเป็นต้องสวมรองเท้าบู๊ทชั้นในภายในรองเท้าที่เหมาะกับงานนั้น ช่องที่ด้านบนของรองเท้าจะต้องปิดแนบไปกับขากางเกงของชุดคลุมตัว
การถอดชุด:
ควรจะถอดชุดด้วยความระมัดระวังเพราะชุดอาจจะปนเปื้อนได้ ผู้ช่วยถอดชุดควรจะสวมถุงมือเมื่อถอดชุดออกจากผู้สวมใส่ ระวังอย่าให้สิ่งปนเปื้อนสัมผัสกับทั้งผู้สวมใส่และผู้ช่วยถอดชุด
พื้นที่การใช้งาน:
ชุดคลุมตัวเหล่านี้ได้รับการออกแบบเพื่อป้องกันสารอันตรายและสิ่งปนเปื้อนต่างๆจากทั้งผลิตภัณฑ์และบุคคล ชุดคลุมตัวสามารถใช้งานได้โดยขึ้นอยู่กับความร้ายแรงของสารพิษและเงื่อนไขต่างๆ ทั้งนี้เพื่อป้องกันอนุภาคในอากาศ การสาดกระเด็นในพื้นที่จำกัดและการพ่นสเปรย์
ความต้องการในคุณสมบัติของชุดปกป้องสารเคมีนี้ได้มาตรฐานตามรายการข้างต้น ซึ่งจำเป็นต้องสามารถต่อต้านการแทรกซึมของอนุภาคแข็ง อนุภาคในอากาศและวัสดุกัมมันตภาพรังสีอีกด้วย นอกจากนี้ชุดนี้สามารถใช้ได้ในกรณีต้องสัมผัสกับของเหลว น้ำมันที่พ่นกระจายบางเบา หรือ การสาดกระเซ็นของสารเคมีที่ไม่จำเป็นต้องใช้เกราะป้องกันการแทรกซึมที่สมบูรณ์ได้
คำเตือนเรื่องไฟฟ้าสถิต:
บุคคลที่สวมชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตจะต้องยืนอยู่บนพื้นอย่างมั่นคง แรงต่อต้านระหว่างบุคคลและพื้นดินควรจะอยู่ที่ <10^8 โอห์ม ดังกรณีการสวมใส่รองเท้าที่เหมาะสม เมื่อบุคคลสวมชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าพร้อมกับรองเท้าบู๊ทชั้น ปัจจัยการพิจารณาการถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตจะอยู่ที่การใช้สายดิน ชุดป้องกันไฟฟ้าสถิตนี้อาจส่งต่อกระแสไฟโปลงดินโดยตรง (เช่น สายกราวด์) หรือผ่านร่างกายของผู้สวมใส่ผ่านไปยังสายดินและด้วยเหตุนี้ความต่อเนื่องของไฟฟ้าสถิตระหว่างผิวหนังและเสื้อผ้าชั้นนอกของดัชนี 1 จะได้รับการดูแลอย่างต่อเนื่องโดยใช้วัสดุกันเสื้อผ้าด้านในของดัชนี 2 หรือ 3 ที่เหมาะสมชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตไม่ควรเปิดหรือถอดออกเมื่อผู้สวมใส่ยังอยู่ในสิ่งแวดล้อมไวไฟหรือเสี่ยงต่อการระเบิดหรือถือสารไวไฟหรือระเบิดอยู่ เสื้อผ้าสลายไฟฟ้าสถิตมีจุดมุ่งหมายให้สวมใส่ในโซน 1, 2, 20, 21 และ 22 (ดูที่ EN 60079-10-1 [7] และ EN 60079-10-2 [8]) ซึ่งพลังงานในการจุดระเบิดในชั้นบรรยากาศมากกว่า 0.016mJชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตไม่ควรใช้ในสถานที่ที่เต็มไปด้วยก๊าซออกซิเจน เว้นแต่จะได้รับการยืนยันจากวิศวกรความปลอดภัยเสียก่อน ประสิทธิภาพของชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตอาจจะได้รับผลกระทบจากการสวมใส่และการฉีกขาด การซัก และสิ่งปนเปื้อนอื่นๆ (ดูที่ EN 60079-10-1[7]).ชุดถ่ายเทประจุไฟฟ้าสถิตควรจะสวมคลุมส่วนที่ต้องปกปิดตลอดเวลาการใช้งานปกติ (รวมถึงการงอและการเคลื่อนไหวด้วย)
การเก็บและการทิ้ง:
ชุดนี้ควรจะจัดเก็บไว้ตามการจัดเก็บปกติ เหมาะที่จะเก็บในที่มืด ไม่สัมผัสกับแสงยูวี และสิ่งแวดล้อมที่เป็นภัยต่อชุด โพลีเมอร์ภายในชุดสามารถยืนยันอายุการจัดเก็บที่ยาวนานได้ แต่ทางเราขอแนะนำว่าชุดควรจะเปลี่ยนใหม่หลังจากจัดเก็บไปแล้ว 5 ปี เนื่องจากคุณสมบัติต้านประจุไฟฟ้าสถิตอาจจะเสื่อมไปตามเวลาได้
ข้อจำกัดในการทิ้งชุดขึ้นอยู่สิ่งปนเปื้อนที่ปนเปื้อนชุดระหว่างการใช้งาน หากคุณมีข้อสงสัยกรุณาติดต่อซัพพลายเออร์ของคุณ ผู้ผลิตไม่สามารถรับผิดชอบต่อการใช้ชุดที่ไม่ถูกต้องหรือการทิ้งชุดปกป้องได้

ตารางประสิทธิภาพของ ULTITEC 3000T

คุณสมบัติผ้าทางกายภาพ อ้างอิงตามมาตรฐาน EN 14325:2018		วิธีทดสอบ	ผลลัพธ์	ระดับ
ความทนทานต่อการสึกกร่อน		EN ISO 12947	>100 รอบ*	ระดับ 2*
ความทนทานต่อการหักงอ		EN ISO 7854-B	>50,000 รอบ*	ระดับ 6
ความต่อต้านการฉีกขาดแนวขนาน	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	ระดับ 2
ความทนต่อแรงดึง	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	ระดับ 1
การทนทานต่อแรงทิ่มทะลุ		EN 863	>10N	ระดับ 2
ความแข็งแกร่งของตะเข็บ		EN ISO 13935-2	>75N	ระดับ 3
การต่อต้านประจุไฟฟ้าสถิต		EN 1149-5	ผ่าน	
ค่ากรดด่าง pH		EN ISO 3071	ผ่าน	
การต่อต้านการติดไฟ		EN 13274-4	ผ่าน	
หมายเหตุ * แสดงให้เห็นถึงจุดสิ้นสุดการมองเห็น				

ระดับการไล่น้ำและต้านการแทรกซึม อ้างอิงตามมาตรฐาน EN 14325:2018	วิธีทดสอบ	การแทรกซึม	การไล่น้ำ
กรดซัลฟิวริก 30%	EN ISO 6530	ระดับ 3	ระดับ 3
โซเดียม ไฮดรอกไซด์ 10%	EN ISO 6530	ระดับ 3	ระดับ 3
โอ-ซิลีน	EN ISO 6530	ระดับ 3	ระดับ 3
บูทาน-1-ol	EN ISO 6530	ระดับ 3	ระดับ 3

อัตราความมั่นคงในการต่อต้านการซึมผ่านของเหลว อ้างอิงตามมาตรฐาน EN 14325:2018	วิธีทดสอบ	เนื้อผ้า	เทป
กรดซัลฟิวริก 30%	EN ISO 6529	ระดับ 1	ระดับ 2
หมายเหตุ: กรุณาติดต่อผู้จัดจำหน่ายท้องถิ่นเพื่อดูรายการทดสอบและผลทดสอบแบบเต็ม			

ประสิทธิภาพของเนื้อผ้าในการต่อต้านสารติดเชื้อใน EN 14126:2003				
ISO 16603:2004 ระดับ 6	ISO 16604:2004 ระดับ 6	ISO/DIS 22611:2003 ระดับ 3	ISO 22612:2005 ระดับ 3	ISO 22610:2006 ระดับ 6

การทดสอบประสิทธิภาพชุดโดยรวม	
ประเภท 4 EN 14605:2005 ทดสอบพ่นสเปรย์ วิธีทดสอบ: EN ISO 17491-4:2008 วิธี:B	ผ่าน
ประเภท 5 EN ISO 13982-1:2004 ทดสอบรั่วซึมภายใน วิธีทดสอบ: EN ISO 13982-2:2004 ผ่าน = Ljmn.82/90≦30% และ LS.8/10≦15%	ผ่าน
เนื้อผ้าป้องกันวัสดุกัมมันตภาพรังสี วิธีทดสอบ: EN 1073-2:2002 ยกเว้นการต่อต้านอุดตัน (ยังไม่ได้ทดสอบ)	ระดับ 1
ประเภท 6 EN 13034:2005 ทดสอบพ่นสเปรย์ระดับต่ำ วิธีทดสอบ: EN ISO 17491-4:2008 วิธี:A	ผ่าน

ใบรับรองที่เตรียมและเซ็นชื่อโดยผู้ผลิตสามารถเข้าถึงได้ในเว็บไซต์ผู้ผลิตที่ให้ไว้ด้านล่าง

Burmese

ULTITEC 3000T

စတိုင် နံပါတ် DD310T, DD320T, DD330T, DD340T   ဓာတုဗေဒ ကာကွယ်ရေး ဝတ်စုံ အမျိုးအစား III

ဤဝတ်စုံသည် EU 2016/425 စည်းကမ်းချက်များနှင့် ကိုးကားရန် စံနှုန်း မှန်သမျှနှင့် ကိုက်ညီသည်

အမှတ်အသားများ-
စက်ရုံဝတ်စုံတိုင်းကို အတွင်းပိုင်း နှင့် အပြင်ပိုင်း တံဆိပ်ဖြင့် ခွဲခြား ဖော်ပြထားသည်။ အတွင်းပိုင်း တံဆိပ်သည် စည်းကမ်းချက်များတွင် ဖော်ပြထားသည့် ကာကွယ်ရေး အတန်းအစားကို ညွှန်ပြသည်။ ၎င်းသည် နောက်ဆုံး သုံးသူအား သုံးစွဲမှုဆိုင်ရာ အခြား အချက်အလက်များကိုပါ ဖော်ပြပေးသည်။ အပြင်ပိုင်း တံဆိပ်သည် ဝတ်စုံ အမျိုးအစားကို ညွှန်ပြသည်။

1 အထည် အမျိုးအစား သို့မဟုတ် တံဆိပ်
2 စတိုင် နံပါတ် သို့မဟုတ် မော်ဒယ် ဖော်ပြချက်
3 ထုတ်ကုန်များသည် ဥရောပစည်းမျဉ်း (EU) 2016/425ပါ အမျိုးအစား၃PPE အတွက် လိုအပ်ချက်များနှင့် ကိုက်ညီမှုရှိသည်။ EU အမျိုးအစားစစ်ဆေးချက်(မော်ဂျူး ခ)ကို SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598) က ထုတ်ပေးသည်။ ထုတ်လုပ်မှုလုပ်ငန်းစဉ်ဆိုင်ရာထောက်ခံလက်မှတ်များသည် အရည်အသွေးအာမခံချက်နှင့် ကိုက်ညီမှုရှိကြောင်း (မော်ဂျူး ဃ)ကို SGS Fimko Oy., Takomotie 8, FI-00380 Helsinki, Finland, (N.B. 0598) က စောင့်ကြပ်စစ်ဆေးသည်။
4 အမျိုးအစား 4 ပက်ဖျန်းမှု ဝင်မရသည့် အဝတ်အစား EN 14605:2005 + A1:2009
အမျိုးအစား 5 အမှုန် ဝင်မရသည့် အဝတ်အစား EN ISO 13982-1:2004 + A1:2010
အမျိုးအစား 6 ပက်ဖျန်းမှု အကန့်အသတ်ဖြင့် ဝင်နိုင်သည့် အဝတ်အစား EN 13034:2005 + A1:2009
5 ဤ ညွှန်းပုံက ဝတ်စုံ ဓာတုဗေဒ ကာကွယ်ရေး ဖြစ်ကြောင်းကို ပြသည်
6a ULTITEC 3000T စက်ရုံဝတ်စုံများကို လျှပ်စီးမြဲကို ဆန့်ကျင်ရန် မွမ်းမံထားပြီး အတွင်းပိုင်း မျက်နှာပြင် အတွက်သာ ဖြစ်သည့် EN1149-5:2018 မှ လျှပ်စီးမြဲ ကာကွယ်ရေး တောင်းဆိုချက်ကို ကိုက်ညီပြီး ထိရောက်မှုရှိရန် ကိုက်ညီဖက်သည့် အသုံးအဆောင်များ နှင့် လုပ်ငန်းစဉ်များကို အသုံးပြုရန် လိုအပ်သည်။ (အောက်ပါ မှတ်ချက်ကို ဖတ်ရှုပါ)
6b ဤ ညွှန်းပုံ နှင့် EN 1073-2:2002 နှင့်အညီ ရေဒီယိုဓာတ်ကြွမှု ကာကွယ်မှုကို ညွှန်ပြပြီး၊ ပုဒ်မ 4.2 ထဲက ထိုးဖောက်မှုအား ခံနိုင်စွမ်း နှင့် ပိတ်ဆို့မှုအား ခံနိုင်စွမ်း မပါဝင်ပါ။
6c အမျိုးအစား နံပါတ်၏ နောက်မှာ ပါလာသည့် အက္ခရာ -B' က ဤစက်ရုံဝတ်စုံထဲ အသုံးပြုထားသည့် အထည်ကို EN14126:2003 ၏ ကူးစက်မှု အရောဂါများမှ ကာကွယ်မှုကို စမ်းသပ်ခဲ့ပြီး အောင်ခဲ့ကြောင်း ညွှန်ပြပါသည်
7 ဆိုက်ဆိုင်ရာ အချက်အလက်များ- ကျေးဇူးပြုပြီး သင့်တော်သည့် ဆိုက်ကို ရွေးပါ။

ဆိုက်	S	M	L	XL	2XL	3XL	4XL
ရင် (cms)	84 - 92	92 - 100	100 - 108	108 - 116	116 - 124	124 - 132	132 - 140
အရပ် (cms)	162 - 170	170 - 176	176 - 182	182 - 188	188 - 194	194 - 200	200 - 206

8 ဝတ်ဆင်သူသည် ယင်း ညွှန်ကြားချက်များကို ဖတ်သင့်သည်
9 ဂရုစိုက်ရန် ညွှန်းပုံများ မလျှော်ပါနှင့်၊ စက်ဖြင့် အခြောက် မလှန်းပါနှင့်၊ မီးပူမတိုက်ပါနှင့်၊ အခြောက် မလျှော်ပါနှင့်။
10 ပြန်ပြီး မသုံးပါနှင့်
11 ထုတ်လုပ်မှု ရက်စွဲ
12 နောက်ထပ် သတိပေးချက်- မီးလောင်လွယ်သည့် ပစ္စည်း- မီးကို အဝေးမှ ရှောင်ပါ

ကန့်သတ်ချက်များ-
အမျိုးအစား 5/6 နှင့် EN 1073-2 ဝတ်စုံများ၏ လုပ်ကိုင်နိုင်စွမ်း တောင်းဆိုချက်များကို အပြည့်အဝ ပြည့်မီရန် အတွက်၊ လက်ကောက်ဝတ်၊ ခြေချင်းဝတ်၊ လည်ပင်း ကဲ့သို့ ပွင့်နေသည့် နေရာအားလုံး နှင့် ဇစ်ချိတ်ကို တိပ်ခွေဖြင့် လုံခြုံအောင် ပိတ်ထားရမည်။ သုံးစွဲသူသည် လိုအပ်သည့် ကာကွယ်မှု အမျိုးအစားများ နှင့် ဝတ်စုံ အသုံးအဆောင်များ နှင့် ပံ့ပိုးရေး ပစ္စည်းကိရိယာများ သင့်လျော်မှုကို တစ်ဦးတည်း တာဝန်ယူ ဆုံးဖြတ်ရမည်။ အပြည့်အဝ ကာကွယ်ပေးရန် ထွက်ပေါက်များ အားလုံးကို လုံခြုံအောင် ပိတ်ထားရမည်၊ သို့သော် သုံးနေစဉ် နွေးထွေးလာစေရန် ဖွင့်ပေးရေးကို သုံးစွဲသူမှ ဆုံးဖြတ်နိုင်သည်။ အပူ ဒဏ် နှင့် အဆင်မပြေမှုကို သင့်လျော်သည့် အောက်ခံ ဝတ်စုံများ သို့မဟုတ် လေဝင်လေထွက် ကိရိယာကို အသုံးပြုပြီး လျှော့ချ သို့မဟုတ် ဖယ်ရှားနိုင်သည်။ထုတ်လုပ်သူသည် မဆီလျော်သည့် အပြုအမူ သို့မဟုတ် ကာကွယ်ရေး အဝတ်အစား သို့မဟုတ် ပံ့ပိုးရေး စက်ပစ္စည်းများကို မသင့်မတင့် ရွေးချယ်မှုကြောင့် ဖြစ်ပွားလာနိုင်သည့် မတော်တဆမှုများ အတွက် တာဝန်မယူပါ။
အသုံးပြုရန် နယ်ပယ်များ-
အချို့သော ဓာတုပစ္စည်းများ သို့မဟုတ် မငြိမ်းသည့် ပါဝင်မှုများ သို့မဟုတ် ဖိအားများနှင့် ထိတွေ့မှုက ပိုမမြင့်မားသည့် အတားအဆီး အထည်၏ ဂုဏ်သတ္တိများ၊ သို့မဟုတ် ဝတ်စုံအား ချုပ်လုပ်ပေးရန်ကို တောင်းဆိုနိုင်သည်။ ယင်း အခြေအနေများမှာ အထည်များကို အမျိုးအစား 1 မှ 3 အတွက် စံနှုန်းများကို မီစေရန် သို့မဟုတ် ပိုပြီး ကာကွယ်ပေးနိုင်စွမ်း ရှိသည့် ပစ္စည်းဖြင့် ပြုလုပ်ပေးခြင်းဖြင့် ကာကွယ်ပေးနိုင်ပါသည်။အထူးသဖြင့် ဖိနပ်များ (ခြေအိတ်များ)ကို ပူးတွဲပေးထားလျှင်၊ ရည်ရွယ်ထားသည့် အသုံးပြုမှုနှင့် ဆီလျော်သည့် ဖိနပ်ကို စီးရမည်။ တွဲသုံးရန် ဖိနပ်ကို ဆီလျော်သည့် ဖိနပ်၏ အတွင်းပိုင်းတွင် စီးရန် လိုအပ်ပြီး ဖိနပ်ထိပ်ရှိ အပေါက်ကို စက်ရုံဝတ်စုံ၏ ခြေထောက်သို့ ချိတ်ထားရမည်။
အထည်ကို ချွတ်မှု -
မည်သည့် အထည်ကိုမဆို ချွတ်ရာတွင် ညစ်ညမ်းခဲ့ဖွယ်ရာ ရှိသောကြောင့် သတိထားရန် လိုအပ်သည်။ လက်အိတ်များကို စွပ်ထားသည့် ကူညီပေးသူကို အသုံးပြုပြီး၊ ဝတ်စုံကို ဝတ်ထားသူမှ ကျွတ်အောက်သို့ ချွတ်ယူရေး၊ ညစ်ညမ်းမှုများကို ကူညီပေးသူနှင့် လည်းကောင်း၊ ဝတ်ဆင်ထားသူနှင့် လည်းကောင်း၊ မထိမိစေရန် ဂရုစိုက်ရန် လိုအပ်သည်။
စံမီကိုက်ညီမှု နှင့် တာဝန်ယူမှု-
ယင်းဝတ်စုံများကို အန္တရာယ်ရှိနိုင်သည့် အရာများ နှင့် ထုတ်ကုန်ကိုရော ဝန်ထမ်းများကိုပါ ညစ်ညမ်းမှုမှ ကာကွယ်ပေးရန် စီမံပြုထားပါသည်။ ၎င်းတို့ကို အဆိပ်ပြင်းထန်မှု နှင့် အခြေအနေများပေါ် မူတည်ပြီး လေထဲမှ အမှုန်များ နှင့် အကန့်အသတ်ဖြင့် မီးချိုး နှင့် အရည်ပန်းမှုများမှ ကာကွယ်ရန် အသုံးပြုပါသည်။ယင်း ဓာတုဗေဒ ကာကွယ်ရေး အဝတ်အစားဆိုင်ရာ တောင်းဆိုချက်များကို လေနှင့်အတူ ပါလာသည့် အမှုန်များ၊ ရေဒီယိုဓာတ်ကြွ အရာများ အပါအဝင်အား စိမ့်ဝင်မှုကို ခံနိုင်ရည်ရှိရန် လိုအပ်သည့် အထက် ဖော်ပြပါ စံနှုန်းများထဲတွင် ဖော်ပြထားသည်။ ထို့အပြင် ၎င်းကို ပေါ့ပါးသည့် အရည်မှုန်များ သို့မဟုတ် အရည်ဖြင့် ပက်ဖျန်းမှုများမှ လုံးဝ ဟန့်တားပေးရန် မလိုအပ်သည့် နေရာမျိုးမှာ အသုံးပြုရန် ရည်ရွယ်ထားသည်။
လျှပ်စီးမြဲ သတိပေးမှုများ-
လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသော အဝတ်အစားကို ဝတ်ဆင်ထားသူအား စနစ်တကျ မြေစိုက်ကြိုး ချထားရမည်။ လူနှင့် မြေကြီးအကြားက ခုခံနိုင်စွမ်းမှာ <10^8 ohm ရှိရမည်၊ ဥပမာ၊ သင့်လျော်သည့် ဖိနပ်ကို စီးထားရမည်။လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့်ဤအဝတ်အစားကို မြေစိုက်ကြိုး တိုက်ရိုက် (ဥပမာ၊ မြေစိုက်ကြိုးဖြင့်) ချပေးနိုင်သည် သို့မဟုတ် မြေစိုက်ကြိုး ချထားသည့် ဝတ်ဆင်သူ၏ ခန္ဓာကိုယ်မှ တစ်ဆင့် ချပေးနိုင်ပြီး၊ ထိုသို့ဖြစ်လျှင် အရေပြားနှင့် အညွှန်း 1 အပြင်ဘက် အဝတ်အစား အကြားမှာ လျှပ်စီးမြဲ ချိတ်ဆက်မှုကို အဝတ်အစားအောက်မှာ ရှိသည့် သင့်လျော်သည့် အညွှန်း 2 သို့မဟုတ် 3 မှတစ်ဆင့် ထိန်းသိမ်းပေးထားရန် လိုအပ်သည်။လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့် အဝတ်အစားကို မီးလောင်လွယ်သည့် သို့မဟုတ် ပေါက်ကွဲနိုင်သည့် ဝန်းကျင်များ သို့မဟုတ် မီးလောင်လွယ်သည့် သို့မဟုတ် ပေါက်ကွဲနိုင်သည့် အရာများကို ကိုင်တွယ်နေချိန်များမှာ မဖွင့်ရပါ သို့မဟုတ် မချွတ်ရပါ။ လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့် အဝတ်အစားကို လေထုထဲ ပေါက်ကွဲနိုင်သော ပစ္စည်း တစ်ခုခု၏ အနည်းဆုံး မီးတောက်စေသည့် စွမ်းအင် 0.016mJ ထက် မနည်းသည့် (EN 60079-10-1[7] နှင့် EN 60079-10-2[8] ကို ဖတ်ရှုပါ) ဇုန် 1၊ 2၊ 20၊ 21 နှင့် 22 များတွင် ဝတ်ဆင်ရန် ဖြစ်သည်။တာဝန်ရှိသည့် လုံခြုံရေး အင်ဂျင်နီယာမှ ကြိုတင်ပြီး ထောက်ခံချက် မရရှိဘဲ နှင့် လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့် အဝတ်အစားကို အောက်ဆီဂျင် ကြွယ်ဝသည့် ဝန်းကျင်မှာ အသုံးမပြုရပါ။ လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့် ကာကွယ်ရေး အဝတ်အစား၏ လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေနိုင်စွမ်းအား ဝတ်ခြင်း နှင့် ပွန်းပဲ့မှု၊ လျှော်မှု နှင့် ညစ်ညမ်းလာနိုင်မှုကြောင့် သက်ရောက်နိုင်ပါသည်။ (EN 60079-10-1[7] ကို ဖတ်ရှုပါ)။စံမီမှုကိုက်ညီသည့် ပစ္စည်းများကို ပုံမှန် အသုံးပြုချိန်မှာ (ကွေးချိုးခြင်း နှင့် လှုပ်ရှားမှုများ အပါအဝင်) တချိန်လုံး လျှပ်စီးမြဲကို လွှင့်စင်စေသည့် အဝတ်အစားဖြင့် ဖုံးအုပ်ထားရမည်။
သိုလှောင်ခြင်း နှင့် စွန့်ပစ်ခြင်း-
ဝတ်စုံများကို ပုံမှန် သိုလှောင်ရေး လုပ်ရိုးလုပ်စဉ် အတိုင်း သိုလှောင်ရန် ဖြစ်ပြီး၊ မှောင်နေလျှောက် ခရမ်းလွန် အလင်း ကျရောက်ခြင်း မရှိသည့် နေရာမျိုးကို ဦးစားပေးရန် နှင့် ပတ်ဝန်းကျင်ကို အန္တရာယ် မပြုစေသည့်အနေဖြင့် စွန့်ပစ်ရန် လိုအပ်သည်။ ဓာတ်မပြုသော ပိုလီမာကို သုံးခြင်းက သက်တမ်း ကာရှည်သုံးနိုင်မှုကို အာမခံနိုင်သော်လည်း အချိန်ကြာလာလျှင် လျှပ်စီးမြဲ ဂုဏ်သတ္တိများ လျော့နည်းလာနိုင်သော ကြောင့် 5 နှစ်နောက်မှာ အစားထိုးသင့်ပါသည်။စွန့်ပစ်မှုဆိုင်ရာ ကန့်သတ်ချက်များမှာ အသုံးပြုနေစဉ် ညစ်ညမ်းမှု အပေါ်တွင်သာ လုံးဝ မူတည်ပါသည်။ သံသယရှိလျှင် ကျေးဇူးပြုပြီး သင်၏ ပစ္စည်းပေးသွင်းသူကို ဆက်သွယ်ပါ။ ထုတ်လုပ်သူတို့သည် ၎င်းတို့ ထုတ်လုပ်ပေးလိုက်သည့် ဝတ်စုံများအား မမှန်ကန် အသုံးချမှု သို့မဟုတ် စွန့်ပစ်မှု အတွက် တာဝန် မယူနိုင်ကြပါ။

ULTITEC 3000T ၏ လုပ်ကိုင်နိုင်စွမ်း ဇယားပုံ

အထည်၏ ရုပ်ပိုင်း ဂုဏ်သတ္တိများ EN 14325:2018 ထဲက အတန်းအစား သတ်မှတ်ချက်ကို အခြေခံသည်		စမ်းသပ်မှု နည်း	ရလဒ်	အတန်းအစား
ပွန်းပဲ့မှု ခံနိုင်စွမ်း		EN ISO 12947	>ကြိမ်ရေ 100*	အတန်းအစား 2*
ကွေးချိုးမှုကို ခံနိုင်စွမ်း		EN ISO 7854-B	>ကြိမ်ရေ 50,000*	အတန်းအစား 6
တပြိုင်နက် စုတ်ပြဲမှုကို ခံနိုင်စွမ်း။	MD CD	EN ISO 9073-4	>40N >20N	အတန်းအစား 2
ဆွဲဆန့်မှု အား	MD CD	EN ISO 13934-1	>100N >30N	အတန်းအစား 1
ထိုးဖောက်မှုကို ခံနိုင်စွမ်း		EN 863	>10N	အတန်းအစား 2
ချုပ်ရိုး ခိုင်ခံ့မှု		EN ISO 13935-2	>75N	အတန်းအစား 3
လျှပ်စီးမြဲဆန့်ကျင်နိုင်စွမ်း		EN 1149-5	အောင်	
pH တန်ဖိုး		EN ISO 3071	အောင်	
မီးတောက်မှုအား ခံနိုင်စွမ်း		EN 13274-4	အောင်	
မှတ်ချက် * မြင်ရသည့် အဆုံးနေရာကို ဆိုလိုသည်				

တွန်းလှန်မှု နှင့် စိမ့်ဝင်မှုကို ခံနိုင်စွမ်း EN 14325:2018 ထဲက အတန်းအစား သတ်မှတ်ချက်ကို အခြေခံသည်	စမ်းသပ်မှု နည်း	စိမ့်ဝင်မှု	တွန်းလှန်မှု
ဆာလဖျူရစ် အက်ဆစ် 30%	EN ISO 6530	အတန်းအစား 3	အတန်းအစား 3
ဆိုဒီယမ် ဟိုက်ဒရောဆိုဒ် 10%	EN ISO 6530	အတန်းအစား 3	အတန်းအစား 3
o-Xylene	EN ISO 6530	အတန်းအစား 3	အတန်းအစား 3
Butan-1-ol	EN ISO 6530	အတန်းအစား 3	အတန်းအစား 3

စီးယိုမှုအား ခံနိုင်စွမ်းကို ဆုံးဖြတ်ခြင်း EN 14325:2018 ထဲက အတန်းအစား သတ်မှတ်ချက်ကို အခြေခံသည်	စမ်းသပ်မှု နည်း	အထည်	တိပ်ခွေ
ဆာလဖျူရစ် အက်ဆစ် 30%	EN ISO 6529	အတန်းအစား 1	အတန်းအစား 2
မှတ်ချက်- ကျေးဇူးပြုပြီး စမ်းသပ်ခဲ့သည့် ဓာတုပစ္စည်းများ နှင့် ရလဒ်များ၏ စာရင်း အပြည့်အစုံကို ဒေသခံ ဖြန့်ချိသူထံမှ ဆက်သွယ်ရယူပါ။			

EN 14126:2003 ထဲက ကူးစက်မှု အရောဂါအား ဆန့်ကျင်ရန် အထည်၏ လုပ်ကိုင်နိုင်စွမ်း				
ISO 16603:2004 အတန်းအစား 6	ISO 16604:2004 အတန်းအစား 6	ISO/DIS 22611:2003 အတန်းအစား 3	ISO 22612:2005 အတန်းအစား 3	ISO 22610:2006 အတန်းအစား 6

ဝတ်စုံ တစ်ခုလုံးအား စမ်းသပ်မှု ဆောင်ရွက်ပုံ	
အမျိုးအစား 4 EN 14605:2005 အရည်မှုန်ဖြင့် စမ်းသပ်မှု စမ်းသပ်မှု နည်း- EN ISO 17491-4:2008 နည်း-B	အောင်
အမျိုးအစား 5 EN ISO 13982-1:2004 အတွင်းသို့ စီးယိုမှုကို စမ်းသပ်မှု စမ်းသပ်မှု နည်း- EN ISO 13982-2:2004 အောင် = Ljmn.82/90≦30% နှင့် LS.8/10≦15%	အောင်
ရေဒီယိုဓာတ်ကြွ ပစ္စည်းများကို ဆန့်ကျင်သည့် ကာကွယ်ရေး အဝတ်အစားများ စမ်းသပ်မှု နည်း- EN 1073-2:2002 ပိတ်ဆို့မှုအား ခံနိုင်စွမ်း မပါဝင်ပါ (မစမ်းသပ်ရသေး)	အတန်းအစား 1
အမျိုးအစား 6 EN 13034:2005 အဆင့်နိမ့် အရည်မှုန် စမ်းသပ်မှု စမ်းသပ်မှု နည်း- EN ISO 17491-4:2008 နည်း-A	အောင်

ထုတ်လုပ်သူ ပြင်ဆင်ပေးခဲ့ပြီး လက်မှတ် ထိုးပေးထားသည့် စံမီကြောင်း ကြေညာချက်ကို အောက်မှာ ဖော်ပြထားသည့် ထုတ်လုပ်သူ၏ ဝဘ်ဆိုက်မှာ ကြည့်ရှုနိုင်ပါသည်